## 学修の手引き

第6学年 (Segment 10)

平成 30 年度



東京女子医科大学 医 学 部

### 学修の手引き

第6学年 (Segment 10)

平成 30 年度

#### 目 次

東京	「女子医科大学設立の精神・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	[女醫學校設立主意······	
序	言	3
	女子医科大学の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	〔女子医科大学医学部における3つのポリシー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
MD	プログラム 2011 について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	学部教育を通じて達成する医師としての実践力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	医の実践力_アウトカム・ロードマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	カリキュラムの構造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	ブメント1	
I	学修内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
	領域1:症候・病態の検査と診断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	領域2:循環器・呼吸器の機能と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	領域3:造血・感染の機構と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	領域4:消化管と肝胆膵の機能と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	領域5:内分泌・代謝・栄養・ホメオスターシスの機能と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
	領域 6:精神・神経機能と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
	領域 7: 運動器の機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
	領域8:腎泌尿・性器の機能と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
	領域9:感覚器の機能と病態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
	領域 10:女性・母性の健康と疾患・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	領域 11:発生・成長・発達と小児期の疾患・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
	領域 12:社会環境と保健医療・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
• <b>[</b> 1	建康管理」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
• 基	- 磁研究医養成プログラム ····································	53
П	領域別講義スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55
Ш	試験科目・試験スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	70
IV	教育委員会・学生委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	71
V	講義・実習時間割表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73

#### 東京女子医科大学設立の精神

#### I. 建学の精神

東京女子医科大学は、1900年(明治33年)に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952年(昭和27年)新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998年(平成10年)度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

#### Ⅱ. 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの(吉岡彌生傅)」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心(愛)」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

# 東京女醫學校

# 〇設立主意

事ニアラズヤ巳レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔 滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ專門學校トシテハ女子師範學校、音楽學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自 或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列 學ニアリ由來女子ノ專門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年以前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政冶界ニ或ハ新聞記者ニ 観座視スルニ忍ビス浅學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ 其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將 國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ 世界ノ文化ハ日一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテ 二其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缼點ニシテ幾多ノ髙尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳 ノ品位ヲ髙尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹 二設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而巳ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子 ハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアランヤ蓋シ一歩ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門 ノ同情

明治三十三年十一日

東京女醫學校主

鷲山彌生

識

#### 序言

学 長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、良い教育を行い、優れた医療を行い、医学に係わる高い水準の研究を行ってきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは 2017 年度に改訂された MD プログラム 2011 (2011 年度 1 年生より導入) であるが、その原形は 1990 年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育(その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして 2018 年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MDプログラム 2011では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018年度には医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念で現代の医療に実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生となる自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの要素である、この手引きが有効に活用されることを望む。

#### 東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、 創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く 学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

#### 医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、 生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

#### 東京女子医科大学医学部における3つのポリシー

#### アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。 医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

- ① きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
- ② 礼節をわきまえ、情操豊かな人
- ③ 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
- ④ 医師として活動するために適した心身ともに健康な人

#### カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

医師が活躍しうるさまざまな分野で必要な基本知識、技能および態度を体得し、生涯にわたって学修しうる基礎を固めるためカリキュラムが組まれています。

自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発します。医師としての基本的知識、技能、態度を含む能力は、アウトカム・ロードマップとして示す教育が行なわれ、達成度が評価されます。

#### ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

卒業時には定められた授業科目を修了し、必要な単位を取得し、以下の要件を満たすことが 求められます。

基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振舞うことができる。

自分の目標を知り、自ら実践力を高めるように努力する。

科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。

医療安全の知識を身に付け、安全な医療を行える基礎力を有すること。

女性医師として基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに 即した実践力を獲得していること。

要件を満たした卒業者には学士(医学)を授与します。

#### MD プログラム 2011 について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 23 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 94 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

#### MD プログラム 2011 は 4 個の包括的目標を持つ。

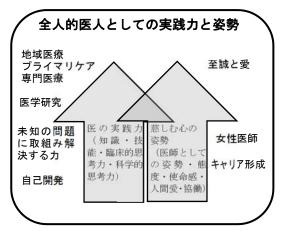
- 1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
- 2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
- 3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
- 4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

#### MD プログラム 2011 は、以下の特徴を持つ。

- 1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
- 2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
- 3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・テュートリアル教育を通じて学ぶ。
- 4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
- 5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを4ないし6年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
- 6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
- 7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

#### 学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する6個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する5個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時までに達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年(1/2年)、中学年(3/4年)、高学年(5/6年)で達成すべき具体的目標をロードマップとして表してある。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

#### I 医の実践力

- 1. 知識と技能を正しく使う力
  - A. 医学的知識を医療に活用できる。
  - B. 診断・治療・予防を実践できる。
  - C. 基本的技能を実践できる。
- 2. 問題を見つけ追求する力
  - A. 解決すべき問題を発見できる。
  - B. 問題を深く追求できる。
  - C. 未知の問題に取り組むことができる。
- 3. 問題解決に向け考え実行する力
  - A. 適切な情報を集め有効に活用できる。
  - B. 解決方法を選び実行できる。
  - C. 結果を評価できる。
- 4. 情報を伝える力
  - A. 患者に情報を伝えることができる。
  - B. 医療情報を記録できる。
  - C. 医療者と情報交換ができる。

- 5. 根拠に基づいた判断を行う力
  - A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
  - B. 根拠に基づいて診療を行える。
- 6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
  - A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
  - B. 医療倫理を理解し実践できる。
  - C. 研究倫理を理解し実践できる。
  - D. 社会の制度に沿った診療を行える。

#### Ⅱ 慈しむ心の姿勢

- 1. 患者を理解し支持する姿勢
  - A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
  - B. 家族・患者周囲に配慮できる。
  - C. 社会の患者支援機構を活用できる。
- 2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
  - A. 目標を設定し達成するために行動できる。
  - B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。
  - C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
  - D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
  - E. 専門職として目標を持つ
- 3. 社会に奉仕する姿勢
  - A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
  - B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
- 4. 先導と協働する姿勢
  - A. 自分の判断を説明できる。
  - B. グループを先導できる。
  - C. 医療チームのなかで協働できる。
- 5. ひとの人生へ貢献する姿勢
  - A. 患者に希望を与えられる。
  - B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ(中間目標)を示す。

# I 医の実践カーアウトカム/ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	0. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	<ol> <li>よ知の問題に取り組むことができる。</li> </ol>
1、2 年 ロードマップ	<ul><li>① 人体の正常な構造と機能を説明できる。I-1-A-(1-2)-①</li></ul>	<ul><li>① データを読み解釈できる。</li><li>I -1-B-(1-2)-①</li></ul>	① 実習に必要な技術を実践できる。	<ul><li>① 現象・事例から学ぶべき</li><li>ことを発見できる。</li></ul>	<ul><li>① 仮説を導くことができる。</li><li>I -2-B-(1-2)-①</li></ul>	<ul><li>① 既知と未知の問題を明らかにできる。I-2-C-(1-2)-①</li></ul>
	② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I -1-A-(1-2)-②		I-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研 修を行える。 I-1-C-(1-2)-②		② 事象、現象、観察などからそ の原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②	<ul><li>② 医学の発展に寄与した科学的発 見を述べられる。</li><li>I-2-C-(1-2)-②</li></ul>
3、4 年ロードマップ	<ul> <li>① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-①</li> <li>② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-②</li> <li>③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I -1-A-(3-4)-③</li> <li>④ 疾患、症候の病態を説明できる。</li> </ul>	<ul> <li>① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-①</li> <li>② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</li> <li>③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。</li> <li>I-1-B-(3-4)-③</li> </ul>	<ul> <li>基本的医療技能を示すことができる。</li> <li>I-1-C-(3-4)-①</li> <li>医療安全に必要な配慮を示すことができる。</li> <li>I-1-C-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 問題の優先度および重要 度を判断できる。</li> <li>I -2-A-(3-4)-①</li> <li>② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I -2-A-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>問題の科学的重要性を評価できる。I-2-B-(3-4)-(1)</li> <li>基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。</li> <li>I-2-B-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>事例から自分の知らないことを発見できる。I-2-C-(3-4)-①</li> <li>未知の問題を解決する方法を見つけることができる。</li> <li>I-2-C-(3-4)-②</li> </ul>
5、6年 ロードマップ		<ul> <li>1 臨床推論を実践できる。</li> <li>1 -1-B-(5-6)-①</li> <li>2 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。I-1-B-(5-6)-②</li> <li>3 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。</li> <li>1 -1-B-(5-6)-③</li> </ul>	<ul> <li>基本的医療技能を実践できる。</li> <li>I-1-C-(5-6)-①</li> <li>安全に配慮して、医療を実践できる。</li> <li>I-1-C-(5-6)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。</li> <li>I -2-A-(5-6)-①</li> <li>② 患者の診療上の問題を明らかにできる。</li> <li>I -2-A-(5-6)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 患者の病態の原因を検索できる。I-2-B-(5-6)-①</li> <li>② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。</li> <li>I-2-B-(5-6)-②</li> </ul>	<ul> <li>(1) 患者から新しいことを学べる。</li> <li>I -2-C-(5-6)-①</li> <li>(2) 患者から自分の知らないことを発見できる。I -2-C-(5-6)-②</li> <li>(3) 自分の能力では解決できない問題を判断できる。</li> <li>I -2-C-(5-6)-③</li> </ul>

	3. 問題解決に向け考え実行する力			4. 情報を伝える力		
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。	A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	6. 医療者と情報交換ができる。
1、2 年 ロードマップ	$\Theta$	<ul> <li>① 情報に即して適切な解決 方法を導くことができ る。I-3-B-(1-2)-①</li> <li>② 複数の問題解決法を考え ることができる。 I-3-B-(1-2)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 問題解決結果の妥当性を 評価できる。 I -3-C-(1-2)-①</li> <li>② 結果に予想される誤差を 考えられる。 I -3-C-(1-2)-②</li> </ul>	<ul><li>① 自分の考えを他者に伝えることができる。</li><li>I -4-A-(1-2)-①</li></ul>	<ul> <li>(1) 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。</li> <li>I -4-B-(1-2)-①</li> <li>② 研究・実習の報告書が作成できる。</li> <li>る。I -4-B-(1-2)-②</li> <li>③ 文書の要約を作成できる。</li> <li>I -4-B-(1-2)-③</li> </ul>	<ul> <li>① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。I-4-C-(1-2)-①</li> <li>② 相手の理解に合わせて、説明できる。I-4-C-(1-2)-②</li> <li>③ 自己学修の結果を適切に伝えられる。I-4-C-(1-2)-③</li> </ul>
3、4 年 日 日 ドマップ	<ul> <li>① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。</li> <li>I -3-A-(3-4)-①</li> <li>② 適切な診療ガイドラインを選択できる。</li> <li>I -3-A-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>(1) 病能を明らかにする方法を挙述ることができる。</li> <li>I -3-B-(3-4)-(3)</li> <li>② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。</li> <li>I -3-B-(3-4)-(2)</li> </ul>	<ul> <li>面切な問題解決を行った か検証できる。</li> <li>I -3-C-(3-4)-①</li> <li>部果の客観的評価ができる。</li> <li>J -3-C-(3-4)-②</li> <li>結果の解釈の限界を明らかにできる。</li> <li>I -3-C-(3-4)-③</li> </ul>	<ul> <li>① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。</li> <li>I -4-A-(3-4)-①</li> <li>② 患者に分かる言葉を選択できる。</li> <li>J -4-A-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 研究・実習・症例などの要約が 作成できる。 I -4-B-(3-4)-①</li> <li>② POMR に基づく診療情報記録方 法を説明できる。</li> <li>I -4-B-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I -4-C-(3-4)-①</li> <li>② 医療チームでの情報共有について説明できる。 I -4-C-(3-4)-②</li> </ul>
5、6 年 ロードマップ	<ul> <li>面切な診療ガイドラインを選択できる。</li> <li>I -3-A-(5-6)-①</li> <li>診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I -3-A-(5-6)-②</li> <li>診療上の問題解決のための情報検索ができる。</li> <li>I -3-A-(5-6)-③</li> <li>其なる問題解決の方法を提示し、比較できる。</li> <li>L、比較できる。</li> <li>L、比較できる。</li> <li>I -3-A-(5-6)-④</li> </ul>	<ul> <li>① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。I-3-B-(5-6)-①</li> <li>② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。I-3-B-(5-6)-②</li> </ul>	<ul> <li>歌療で得られた情報の信頼性を評価できる。</li> <li>I -3-C-(5-6)-①</li> <li>診療過程で予測される問題点を示せる。</li> <li>I -3-C-(5-6)-②</li> <li>予想と異なる結果について原因を考察できる。</li> <li>I -3-C-(5-6)-③</li> </ul>	<ul> <li>(五) 病状を患者が理解できるように伝えられる。</li> <li>(1 - 4 - 4 - (5 - 6) - (1))</li> <li>(2) 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。</li> <li>(1 - 4 - 4 - (5 - 6) - (2))</li> </ul>	<ul> <li>① 診療録を適切に記載できる。         <ul> <li>I -4-B-(5-6)-①</li> <li>② 処方箋を適切に発行できる。</li> <li>I -4-B-(5-6)-②</li> <li>③ 症例要約を作成できる。</li> <li>I -4-B-(5-6)-③</li> </ul> </li> <li>④ 死亡診断書記入法を説明できる。</li> <li>J -4-B-(5-6)-④</li> </ul>	<ul> <li>① 口頭で症例提示ができる。</li> <li>I -4-C-(5-6)-①</li> <li>② 患者の問題点を指導医に報告できる。I-4-C-(5-6)-②</li> <li>③ 必要な患者情報を要約して説明できる。I-4-C-(5-6)-③</li> <li>④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。</li> <li>I -4-C-(5-6)-④</li> </ul>

	5. 根拠に基づいた判断を行う力		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	羅	B. 根拠に基づいて診療を行える。		B. 医療倫理を理解し実践できる。	6. 研究倫理を理解し実践できる。	D. 社会の制度に沿った診療を 行える。
1、2 年 ロードマップ	<ul> <li>① 現象の原因・機序を検索できる。 I -5-A-(1-2)-①</li> <li>② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。I -5-A-(1-2)-②</li> <li>③ 情報の信頼度を評価できる。I -5-A-(1-2)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 根拠に基づいて解決法を判断できる。</li> <li>I -5-B-(1-2)-①</li> <li>② 問題解決の適切性を評価できる。I -5-B-(1-2)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 社会的規範を守った生活ができる。I-6-A-(1-2)-①</li> <li>② 学則を守った学生生活ができる。I-6-A-(1-2)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 個人情報保護について説明できる。 I -6-B-(1-2)-①</li> <li>② 倫理の概念について説明することができる。 I -6-B-(1-2)-②</li> </ul>	<ul> <li>研究倫理の概念について述べることができる。I-6-C-(1-2)-①</li> <li>研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。</li> <li>I-6-C-(1-2)-②</li> </ul>	
3、4 年 ロードマップ	<ul> <li>① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。</li> <li>I -5-A-(3-4)-①</li> <li>② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。</li> <li>I -5-A-(3-4)-②</li> <li>③ 根拠となる文献を検索できる。I -5-A-(3-4)-③</li> </ul>	① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I -5-B-(3-4)-①	<ul> <li>① 医学生の医行為水準を説明できる。I-6-A-(3-4)-①</li> <li>② 医師法・医療法の概要を説明できる。I-6-A-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 医学における倫理の概念を説明できる。I-6-B-(3-4)-①</li> <li>② 倫理的問題を明らかにできる。I-6-B-(3-4)-②</li> <li>③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。I-6-B-(3-4)-③</li> </ul>	<ul> <li>基礎研究における倫理指針を概説できる。I-6-C-(3-4)-①</li> <li>利益相反(Conflict of interest)について説明できる。</li> <li>I-6-C-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 社会保障を概説できる。</li> <li>I -6-D-(3-4)-①</li> <li>② 医療に関する保証制度を概説できる。</li> <li>I -6-D-(3-4)-②</li> </ul>
5、6 年 ロードマップ	<ul> <li>基礎的・臨床的観察を通じて 新たな発見ができる。</li> <li>I -5-A-(5-6)-①</li> <li>問題点に関わる臨床医学文献 を検索できる。</li> <li>I -5-A-(5-6)-②</li> <li>検索した医学的情報の確かさ を評価できる。</li> <li>I -5-A-(5-6)-③</li> </ul>	<ul><li>① 患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。I-5-B-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>(1) 病院の規則に従って診療に関われる。 I -6-A-(5-6)-(1)</li></ul>	<ul> <li>① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。I-6-B-(5-6)-①</li> <li>② 臨床倫理を実践できる。I-6-B-(5-6)-②</li> <li>③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。I-6-B-(5-6)-③</li> </ul>	<ul><li>① 臨床研究の倫理指針を概説できる。 I -6-C-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>① 患者に合わせて医療保験、医療補助制度を説明できる。</li><li>I-6-D-(5-6)-①</li></ul>

II 慈しむ心の姿勢―アウトカム/ロードマップ

	<del>-</del>	患者を理解し支持する姿勢	依勢		2. 生涯を通じて研鑚する姿勢				
アウトカム	-Ÿ	患者の意志と尊厳に配 慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	<ul><li>C. 社会の患者支援機構を 活用できる。</li></ul>	A. 目標を設定し達成するために行動できる。	B. 社会のニーズに応えて 研鑽できる。	C. 自分のライフサイクルの なかでキャリアを構築 できる。	<ul><li>D. 自分の特性を生かした医   療を行うために研鑽する。</li></ul>	E. 専門職として目標を持 り。
1、2 年ロードマップ	$\Theta$	` _	<ul><li>① 様々な年齢の他者と 意志を交わすことが スネマ</li></ul>	<ul><li>① 社会支援制度を説明できる。</li><li>■ 10(10) ①</li></ul>	<ul><li>① 学修上の目標を設定することができる。</li></ul>	<ul><li>① 社会が期待する医 師像を説明できる。</li><li>エ 2 0 (1 2) ①</li></ul>	stで活躍する女性 特性を述べられ	표 1D	<ul><li>① 自分の目標となる 人物像を説明でき</li></ul>
	<u></u>	■-I-A-(I-Z)-(U) 他者を尊重して対 話ができる。 I-I-A-(I-2)-(2) 他者の自己決定を 理解できる。 I-I-A-(I-2)-(3)	<b>II −1−B− (1−2) −(1</b>	— (Z−() −() −() −() −() −() −() −() −() −()	<ul> <li>■ -Z-A-(1-Z)-U</li> <li>② 目標達成の手段を明らかにできる。</li> <li>■ -Z-A-(1-2)-Q</li> <li>③ 省察(振り返り)を実践できる。</li> <li>■ -Z-A-(1-2)-Q</li> <li>④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。</li> <li>□ -Z-A-(1-2)-Q</li> </ul>	_ (Z−I) − (Z−I) − (Π−Z) − (Ω−Z) − (Π−Z) − (Ω	つ。 I -2-C-(1-2)-(1 ② 学修のための時間を 適切に自己管理でき る。 I -2-C-(1-2)-(2)	に発展させられる。 I -2-D-(1-2)-(1) ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-(2)	Д°° П −2−Е−(1−2) −①
3、4 年 ロードマップ		傾聴できる。 I -1-A-(3-4)-(1) 患者の人権・尊厳を 説明できる。 II-1-A-(3-4)-(2)	<ul> <li>① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。</li> <li>図 見者・家族の心理を説明できる。</li> <li>I -1-B-(3-4)-②</li> </ul> I -1-B-(3-4)-②	<ul><li>① 社会の支援制度を 利用する方法を明 らかにできる。</li><li>II-1-C-(3-4)-①</li></ul>	<ul> <li>① 卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。</li> <li>I -2-A-(3-4)-①</li> <li>② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。</li> <li>I -2-A-(3-4)-②</li> </ul> II -2-A-(3-4)-②	<ul><li>① 地域社会の医療ニーズを説明できる。</li><li>I -2-B-(3-4)-①</li></ul>	<ul> <li>一学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。</li> <li>I -2-C-(3-4)-(1)</li> <li>女性のライフサイクルを説明できる。</li> <li>I -2-C-(3-4)-②</li> <li>③ キャリア継続の意思を持つ。</li> <li>I -2-C-(3-4)-③</li> </ul>	<ul> <li>① 自分の特性を活かして学修できる。</li> <li>I - 2 - D - (3 - 4) - ①</li> <li>② 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。</li> <li>I - 2 - D - (3 - 4) - ②</li> </ul>	<ul><li>① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。</li><li>I -2-E-(3-4)-①</li></ul>
5、6年ロードマップ		島者の自己決定を 支援し、必要な情報 が提供できる。 I-1-A-(5-6)-(1) 島者の意志を聞き 出すことができる。 II-1-A-(5-6)-(2) 島者の尊厳に配慮 した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-(3)	<ul> <li>田者・家族の解釈を理解し、対応できる。</li> <li>I -1-B-(5-6)-(1)</li> <li>息者・家族の信頼を得る振る無いができる。</li> <li>こ。</li> <li>I -1-B-(5-6)-(2)</li> <li>患者・家族への説明の場に配慮できる。</li> <li>I -1-B-(5-6)-(3)</li> </ul>	<ul><li>① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。</li><li>I -1-C-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。</li><li>I -2-A-(5-6)-①</li></ul>	<ul> <li>① 研修 (実習) する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。</li> <li>I -2-B-(5-6)-①</li> </ul>	<ul><li>① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。</li><li>II-2-C-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>① 自分の目指す医師像 を達成するための計 画を示せる。</li><li>I -2-D-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>① 自分の特性を活か してどのような医 師を目指すかを述 べることができる。</li><li>II-2-E-(5-6)-①</li></ul>

	3. 社会に奉仕する姿勢	4	4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	<ul><li>A. 社会・地域で求められる医療</li><li>療を実践できる。</li></ul>	B. 医学研究を通じた社会貢献が Aできる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A. 患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。
1,2年 口 - 六 プ	<ul><li>① 社会・地域に奉仕する(</li><li>姿勢を持つ。</li><li>I -3-A-(1-2)-①</li></ul>	<ul><li>① 医学研究の重要性につ (いて概説できる。</li><li>II-3-B-(1-2)-①</li></ul>	<ul><li>① 自分の考えの根拠を 説明できる。</li><li>II-4-A-(1-2)-①</li></ul>	<ul> <li>① 共通の目標を設定できる。 I -4-B-(1-2)-①</li> <li>② 活動向上のための評価ができる。         I -4-B-(1-2)-②</li> <li>③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。 I -4-B-(1-2)-③</li> </ul>	<ul> <li>① 他者の話を聴くことができる。II-4-C-(1-2)-①</li> <li>② 対話の中で相手の述べることを要約できる。II-4-C-(1-2)-②</li> <li>③ 役割分担を確実に実践できる。</li> <li>さる。II-4-C-(1-2)-③</li> </ul>	<ul> <li>① 医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。 II-5-A-(1-2)-①</li> <li>② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。 II-5-A-(1-2)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 学生として適切な振る 舞いで行動できる。</li> <li>I -5-B-(1-2)-①</li> <li>② 学んだことを他者に説明できる。</li> <li>I -5-B-(1-2)-②</li> </ul>
3、4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	<ul><li>① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 I -3-A-(3-4)-①</li><li>(())</li></ul>	<ul> <li>● 基礎医学研究の意義と 現在の動向を概説できる。 I −3−B− (3−4) −(3)</li> <li>② 医学研究成果の意義と 応用・将来性を説明できる。 II −3−B− (3−4) −(2)</li> <li>③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II −3−B− (3−4) −(3)</li> </ul>	<ul> <li>① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。</li> <li><b>I</b> -4-A-(3-4)-①</li> <li>② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。</li> <li><b>I</b> -4-A-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>(1) 討論・話し合いを促せる。 I -4-B-(3-4)-(1)</li> <li>(2) 自分の方針を説明し同意を得ることができる。 I -4-B-(3-4)-(2)</li> <li>(3) 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 I -4-B-(3-4)-(3)</li> </ul>	<ul> <li>① グループ目標達成のために行動できる。</li> <li>I -4-C-(3-4)-①</li> <li>② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。</li> <li>I -4-C-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>単修する事例について医学の貢献を説明できる。</li> <li>I -5-A-(3-4)-①</li> <li>問題を解決できたときの状況を考え説明できる。</li> <li>II -5-A-(3-4)-②</li> </ul>	<ul> <li>① 自分が目標をどのよう に達成したかを他者に 説明できる。</li> <li>I -5-B-(3-4)-①</li> <li>② 相手の知識・技能に合わ せて質問に答えること ができる。</li> <li>I -5-B-(3-4)-②</li> </ul>
5,6年 ロードマップ	<ul><li>① 臨床実習の中で医療に 参加し社会・地域に貢献する。</li><li>I -3-A-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>① 診療のなかで医学研究</li><li>の課題を見つけること</li><li>ができる。</li><li>II-3-B-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>① 診療上の判断を他者 に分かるように説明 できる。</li><li>I -4-A-(5-6)-①</li></ul>	<ul><li>(1) 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。</li><li>II-4-B-(5-6)-①</li></ul>	<ul> <li>① 自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。II-4-C-(5-6)-①</li> <li>② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。</li> <li>II-4-C-(5-6)-①</li> </ul>	<ul> <li>① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。</li> <li>I -5-A-(5-6)-①</li> <li>② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。</li> <li>II -5-A-(5-6)-②</li> </ul>	<ul> <li>適切な振る舞いで診療に参加できる。</li> <li>I -5-B-(5-6)-①</li> <li>② 他者の疑問を共に解決することができる。</li> <li>I -5-B-(5-6)-②</li> <li>③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。</li> <li>I -5-B-(5-6)-③</li> </ul>

#### カリキュラムの構造

カリキュラム(教育計画)は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を4年前期までに学ぶ。4年後期は、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わりを学び、医療を取り巻く環境を理解する。そしてこの時期には、5年の臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、5年の初めから医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験(共用試験CBTおよび問題解決能力試験)、共用試験OSCEなどで評価される。5年から6年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6年後期は、6年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が4もしくは6年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

#### 6年間のカリキュラム全体図

											_
1.5	前期 (4月~7月)	セグメント1		人体の基礎							
1年	後期 (9月~3月)	セグメント2	人体の基本的 構造と機能	人体の機能と微細構造							
2年	前期	セグメント3		人体の発生と全体構造/人体の防御機構	テ				情		
24	後期	セグメント4		疾患の成り立ちと治療の基礎/ 循環器系/呼吸器系/腎/尿路系	ے ا				報処理	選 択	研
3年	前期	セグメント5	臓器·器管系	消化器系/内分泌系/ 栄養·代謝系/生殖器系	トリア	至誠	基本的	国際コ	・統	科 目	労党プ
3年	後期	セグメント6	の構造と機能 の正常と異常	脳神経系/精神系/運動器系/ 皮膚粘膜系/聴覚·耳鼻咽喉系/眼·視覚系	ル	吸と愛	· 医	1 /// п	計		ロジ
4年	前期	セグメント7		全身的な変化/人の一生		」 の	学 的	ニケ			ェク
4#	後期	セグメント8	医学と社会・ 臨床入門	医学と社会/臨床入門		実践学	表現技	ーショ			۲
	前期					修	術	ン			
5年	後期	セグメント9	医療と医学の 実践	臨床実習(研究実習)							
	前期										
6年	後期	セグメント10	全体統合·総合 達成度評価	卒業試験							

#### I 学修内容

#### 1. カリキュラムの概要

#### 1) 講義

自己学修の習慣を生かし最大の効果が得られるように、12 週に亘り、毎週決められた学修 領域を講義で取り上げ、知識を整理・習得する。領域は、医師国家試験出題基準に準拠して、 総論(症候と検査)の1 領域、臓器系統別の10 領域、社会医学と医療総論の1 領域の 全 12 領域で構成される。

#### 2) 総括·評価

各領域終了後にその領域に関わる試験を受け、6年間に亘る卒前教育の総合評価とする。

- 3) 評価基準は、各領域ごとに明記されている。
- 4) 学生作成カリキュラム

全ての領域終了後に目標が充分達成出来ていない学修項目を選び、学生が自主的にカリキュラムを作成し、それに添って講義を受けながら自己学修を行う。

表 1 セグメント10の領域一覧表

番 号	領域
1	症候・病態の検査と診断(健常、臨床判断の基本、症候学、検体検査、画像診断、 超音波、生理検査、内視鏡、病理 など)
2	循環器・呼吸器の機能と病態(胸壁、縦隔を含む)
3	造血・感染の機構と病態
4	消化器管と肝胆膵の機能と病態
5	内分泌・代謝・栄養・ホメオスターシスの機能と病態
6	精神・神経機能と病態
7	運動器の機能(物理的原因、職業性疾患を含む)
8	腎泌尿・性器(女性性器を除く)の機能と病態
9	感覚器の機能と病態
10	女性・母性の健康と疾患(女性性器を含む)
11	発生・成長・発達と小児期の疾患
12	社会環境と保健医療
補 1	治療総論 臨床薬理 処方
	人工臓器 輸血 移植 など
補 2	健康管理と予防医学
	医療倫理 プライマリケアーと救急 など

#### 領域1:症候・病態の検査と診断

#### (健常、臨床判断の基本、症候学、検体検査、画像診断、超音波、生理検査、 内視鏡、病理など)

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (Multiple-Choice Questions、以下 MCQ と略す) で行う。問題数は 63 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

問題配分としては、63 問中全身症候と一般検査 12 問、臨床判断の基本 3 問、救急患者の初期対応 6 問、検体検査 6 問、画像検査による診断 6 問、内視鏡検査による診断 6 問、超音波検査による診断 6 問、生理(体)機能検査の選択と検査所見からの診断 6 問、その他検査 12 問である。

問題の項目は下記から成る。

全身症候と一般検査

全身症候

基本的検査

臨床判断の基本

エビデンスに基づいた医療(EBM)

臨床疫学的指標

基準値

有効性と効率性

臨床試験と倫理性

救急患者の初期対応

救急患者の診察

基本的緊急処置

検体検査

血液

生化学

免疫

微生物検査

ホルモン

体液

血液像

病理·組織学検査

画像検査

エックス線検査

CT 検査

磁気共鳴画像(MRI)検査

核医学検査

内視鏡検査による診断

消化器

呼吸器

超音波検査による診断

消化器

内分泌

泌尿器

生理(体)機能検査の選択と検査所見からの診断

呼吸機能検査

心機能検査

消化管機能検査

肝•胆道機能検査

膵機能検査

内分泌 · 代謝機能検査

基礎代謝

腎機能検査

その他の検査

脳波

誘発脳波

筋電図

聴力検査

平衡機能検査

視力検査

視野検査

#### 【参考図書】

高木 康・山田俊幸編	標準臨床検査医学	医学書院	2013
金井正光	臨床検査法提要(第34版)	金原出版	2015
Medical practice編集委員会	臨床検査ガイド 2015 年改訂版	文光堂	2015
日本臨床検査医学会	臨床検査のガイドライン JSLM2015	宇宙堂八木書店	2015
ガイドライン作成委員会			
Dale Dubin (村川訳)	図解心電図テキスト	文光堂	2007
出月·市川他編	消化管内視鏡の ABC	日本医師会	1996
豊國伸哉・高橋雅英監訳	ロビンス基礎病理学 原書9版	丸善出版	2014
下 正宗・長嶋洋治編	正常画像と比べてわかる	羊土社	2015
	病理アトラス 改訂版		
高久史麿・橋本信也・福井次矢	診察判断学	医学書院	1998
福井次矢・奈良信雄	内科診断学	医学書院	2000
大田 健・永井厚志・	呼吸器病 New Approach 4	Medical View	2002
飛田 涉編	内視鏡による呼吸器診断		
日本呼吸器内視鏡学会編	気管支鏡 臨床医のための	医学書院	2008
	テクニックと画像診断(第2版)		
日本呼吸器内視鏡学会	呼吸器内視鏡診療を安全に行うため	ろに	2013
安全対策委員会編	(Ver. 3.0)		
日本呼吸器学会	気管支肺胞洗浄(BAL 法)の手引き	克誠堂出版	2017
びまん性肺疾患学術部会	(改訂第3版)		
Fletcher RH(福井他訳)	臨床疫学:EBM 実践のための	医学書院 MYW	1999
	必須知識(第3版)		
吉川純一	臨床エコー図学(第3版)	文光堂	2008
細谷貴亮編	脳脊髄の MRI	メディカル・サイ	エンス・
		インターナショナ	ル 2009
仙田宏平・前田壽登	改訂 核医学 Q&A	丸善出版	2006
木下文雄・久保敦司	核医学ノート(第5版)	金原出版	2009
大熊輝雄編	臨床脳波学(第6版)	医学書院	2016
柳澤信夫・柴崎 浩	臨床神経生理学	医学書院	2008
日本救急医学会監修	標準救急医学(第4版)	医学書院	2009
日本救急医学会認定医認定	救急診療指針(第2版)	へるす出版	2003
委員会編、日本救急医学会監修			
日本超音波医学会編	新超音波医学	医学書院	2000
鈴木 茂編	ベーシック電子内視鏡テキスト1	秀潤社	1999
	上部消化管		

鈴木 茂編	ベーシック電子内視鏡テキスト2 下部消化管	秀潤社	2001
時政孝行編	なぜこうなる?心電図	九州大学出版会	2007
西谷 弘・遠藤啓吾・	標準放射線医学(第7版)	医学書院	2011
松井 修・伊東久夫			
町田 徹監訳	CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス (第 4 版) 第 I 巻	MEDSi	2015
町田 徹監訳	<ul><li>CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス</li><li>(第4版) 第Ⅱ巻</li></ul>	MEDSi	2015
町田 徹監訳	<ul><li>CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス</li><li>(第3版) 第Ⅲ巻</li></ul>	MEDSi	2008
絹谷清剛	核医学テキスト	中外医学社	2013
青木茂樹他編	よくわかる脳 MRI (第3版)	秀潤社	2012
林 邦昭・中田 肇編	新版胸部単純 X 線診断(第2版)	秀潤社	2000
Dahnert	Radiology Review Manual Lippinc	ott	2011
	(8th Edition)	Lippincott	
陣崎雅弘監修	腹部の CT(第3版)	MEDSi	2017
村田喜代史・上甲 剛・	胸部の CT(第3版)	MEDSi	2011
村山貞行編			
日本医学放射線学会	画像診断ガイドライン 2016 年	金原出版	2016
日本放射線科専門医会・医会	(第2版)		
三輪史朗・渡辺陽之輔	血液細胞アトラス	文光堂	2004
萩原將太郎	よくわかる血液内科	医学書院	2018

#### 領域2:循環器・呼吸器の機能と病態

(胸壁、縦隔を含む)

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は 100 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

問題配分としては、100 問中呼吸器系(呼吸器内科+呼吸器外科)50 問、循環器系(循環器内科+心臓血管外科+循環器小児科)50 問である。

問題の項目は下記から成る。

呼吸器・胸郭・胸壁の正常構造と機能

呼吸器 · 胸壁 · 縦隔疾患

感染性呼吸器疾患

気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷

免疫的機序が考えられる肺疾患

実質性 · 間質性肺障害

肺循環異常

気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍

胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常と外傷

呼吸調節異常

心臓・脈管の正常構造と機能

心臓・脈管疾患

不整脈

心不全

先天性心疾患

弁膜症

虚血性心疾患

心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷

血圧異常

脈管疾患

#### 主要症候

呼吸器、心臓、血管

#### 検査

生体機能検査

画像検査

内視鏡検査

#### 治療

食事,栄養療法

薬物療法

手術、周術期の管理、麻酔

臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療

放射線治療

インターベンショナルラジオロジー

内視鏡治療

リハビリテーション

二次・三次救急の治療

その他の治療

#### 【参考図書】

内科学 (第11版) 矢崎義雄 他 朝倉書院(2017年)

新臨床內科学 貫和敏博 他 医学書院 (2009 年)

ハリソン内科学書 デニス L. カスパー 他 編

メディカル・サイエンス・インターナショナル (2017年)

講義録 循環器学 小室一成 編 メディカルビュー社 (2004年)

ハーバード大学テキスト 心臓病の病態生理(第4版) 川名正敏 他

メディカル・サイエンス・インターナショナル (2017年)

Braunwald's Heart Disease: A Textbook of Cardiovascular Medicine Mann 他

Saunders (2015年)

標準呼吸器学 泉 孝英 編 医学書院(2000年)

呼吸器外科学(第4版) 正岡 昭 監修 南山堂(2009年)

#### 領域3:造血・感染の機構と病態

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は100問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

問題配分としては、100 問中血液系(血液内科)33 問、感染系(感染症科)33 問、皮膚系(皮膚科)34 問である。

問題の項目は下記から成る。

#### 【医学各論】

皮膚·頭頸部疾患

炎症性皮膚疾患

腫瘍 · 母斑性皮膚疾患

その他の皮膚疾患

呼吸器 • 胸壁 • 縦隔疾患

感染性呼吸器疾患

心臟 • 脈管疾患

弁膜症

消化器・腹壁・胸膜疾患

肝疾患

横隔膜・腹膜・腹壁疾患

急性腹症

血液·造血器疾患

赤血球系疾患

白血球系疾患とその他の骨髄性疾患

リンパ系疾患

出血性疾患と血栓傾向

腎・泌尿器・生殖器疾患

腎・尿路・生殖器の炎症

神経•運動器疾患

神経・運動器の感染性・炎症性疾患

アレルギー性疾患、膠原病、免疫病

アレルギー性疾患 膠原病と類縁疾患

感染性疾患

ウイルス

クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア 細菌(抗酸菌<マイコバクレリア>を除く

抗酸菌<マイコバクテリア>

真菌、寄生虫、その他の病原体

生活環境因子・職業性因子による疾患

#### 【医学総論】

予防と健康管理・増進

感染症対策

病因、病態生理

感染

症候

皮膚、外表

血液、造血器、免疫

検査

検体検査

皮膚・感覚器・発生機能検査

治療

薬物療法

#### 【必須の基本的事項】

医療面接

主要徴候

一般的な身体診察

検査の基本

主要疾患 • 症候群

治療の基本

#### 【参考図書】

血液内科診療ハンドブック 溝口秀昭 南江堂 (2005) 伝染病予防必携(第4補訂版) 重松逸造他 日本公衆衛生協会(1995) 清水 宏 あたらしい皮膚科学(第2版) 中山書店 (2011) 標準皮膚科学(第10版) 橋本 隆編 医学書院 (2013) Principles and Practice of Mandell GL. Churchill Infectious Diseases 7th ed. Livingstone (2010) 三輪血液病学(第3版) 文光堂 (2006) 浅野茂隆他監修 議事録血液・造血器疾患学 メジカルビュー社(2008) 小沢敬也他編 ハリソン内科学 日本語訳(第4版) Dan Longo 他 メディカル・サイエンス・ インターナショナル (2013)

#### 領域 4:消化管と肝胆膵の機能と病態

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は90~100問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を 100 点満点換算し、60 点以上を合格とする。 領域 4 では消化器内科 約 50%、消化器外科 約 50%で出題する。 問題の項目は下記から成る。

#### 【医学各論】

消化器·腹壁·腹膜疾患

食道疾患

胃•十二指腸疾患

小腸・結腸疾患

直腸 • 肛門疾患

消化管共通疾患

肝疾患

胆道疾患

膵疾患

横隔膜・腹膜・腹壁疾患

急性腹症

損傷、異物

#### 【必修の基本的事項】

医療面接

主要症候

消化器

一般的な身体診察

検査の基本

臨床判断の基本

救急初期診療

主要疾患 • 症候群

消化器 · 腹壁 · 腹膜疾患

治療の基本

#### 基本的手技

死、緩和ケア、終末期ケア

#### 【医学総論】

消化器、腹壁、腹膜の正常構造と機能

病因、病態生理

腫瘍

症候

全身症候、消化器

診察

二次・三次救急の診察

検査

検体検査

生体機能検査

画像検査

内視鏡検査

治療

食事・栄養療法

薬物療法

手術、周術期の管理、麻酔

臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療

放射線治療

インターベンショナルラジオロジー

内視鏡治療

二次・三次救急の治療

緩和ケア

その他の治療

#### 【参考図書】

下條文武・斉藤 康 監修	ダイナミックメディシン	西村書店	2003
小川 聡 総編集	内科学書(改訂第8版)	中山書店	2013
矢崎義雄 総編集	内科学(第 11 版)	朝倉書店	2017
福井次矢、黒川清 監修	ハリソン内科学(第5版)	メディカルサイエン	ス
		インターナショナル	2017
武藤徹一郎・幕内雅敏 監	新臨床外科学(第4版)	医学書院	2006
林 紀夫 他 編集	標準消化器病学	医学書院	2003
永井良三 監修	消化器研修ノート(改訂第2版)	診断と治療社	2016
小池和彦 他 編集	消化器疾患の最新の治療	南江堂	2017
	(2017-2018)		
井廻道夫 他 編集	図解消化器内科学テキスト	中外医学社	2006
日本消化器内視鏡学会 他	消化器内視鏡ハンドブック	日本メディカル	2017
	(改訂第2版)	センター	
芳野純治 他 編集	内視鏡所見のよみ方と識別診断	医学書院	2007
	一上部消化管(第2版)		
多田正大 他 編集	内視鏡所見のよみ方と鑑別診断	医学書院	2009
	一下部消化管 第2版		
藤盛孝博	消化管の病理学(第2版)	医学書院	2008
花田敬士	病状・画像から見抜く!	羊土社	2011
	肝胆道系の識別診断		
工藤正俊 他	肝・胆・膵癌 画像診断アトラス	羊土社	2010
跡見 裕他編集	臨床に直結する肝胆膵疾患の治療	文光堂	2007
	のエビデンス		

#### 領域 5 : 内分泌・代謝・栄養・ホメオスターシスの機能と病態

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は 100 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を 100 点満点換算し、60 点以上を合格とする。 問題配分としては、100 問中 内分泌系 50 問、代謝系 50 問である。 問題の項目は下記から成る。

内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患

間脳・下垂体疾患

副甲状腺<上皮小体>疾患とカルシウム・リン代謝異常

副腎皮質,髓質疾患

その他の内分泌疾患・内分泌性高血圧

糖 {質} 代謝異常

脂質代謝異常

タンパク・アミノ酸代謝異常

その他代謝異常

その他の重要な小児領域の疾患

乳腺・乳房疾患

#### 【参考図書】

Williams Text book of Endocrinology(第	13版) Kronenberg HM	他編 Elsevier	2016
最新内分泌代謝学	中尾一和編集主幹	診断と治療社	2013
内分泌臨床検査マニュアル	肥塚直美	日本医事新報社	2017
Harrison's Principles of Internal Medic	cine(第 19 版) Fauci	AS 他編	
McGraw-Hill Inc 2015			
内分泌疾患診療ハンドブック	横手幸太郎監修	中外医学社	2016
内分泌性高血圧	宮森 勇編集	最新医学社	2012
高血圧治療ガイドライン 2014	日本高血圧学会	日本高血圧学会	2014
妊娠高血圧症候群の診療指針 2015 日本妊	娠高血圧学会 メラ	ディカルビュー	2015

下垂体疾患診療マニュアル	四 日 括 喜 緒 他 編	診断と治療社	2012
甲状腺・副甲状腺疾患診療ガイド	佐藤乾二	総合医学社	2009
レーニンジャーの新生化学(第6版)(上・	下) 川嵜敏祐監修	廣川書店	2015
ハーパー生化学 (30版)	清水孝雄監訳	丸善	2016
外科病理学	向井清 他編	文光堂	2006
臨床内分泌病理診断学	笹野伸昭編	医歯薬出版	1994
Endocrine diseases. Atlas of nontumor patholog	gy. Lloyd, RV, et al	AFIP	2002
糖尿病の治療(第2版)	平田幸正	文光堂	2003
糖尿病治療マニュアル(第6版) 東京女子	子医大糖尿病センター編	医歯薬出版	2012
糖尿病診療 診療ガイドライン 2016	日本糖尿病学会編	南江堂	2016
糖尿病治療ガイド 2018-2019	日本糖尿病学会編	文光堂	2018
1型糖尿病治療・ケアのエッセンス	内潟安子監修	医歯薬出版	2018

#### 領域6:精神・神経機能と病態

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は 60 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

問題配分としては、50 問中神経内科・脳血管障害 20 問、意識障害・脳死判定・脳神経 外科疾患 10 問、精神疾患 10 問、全身麻酔と意識と痛み 10 問、神経放射線診断学 10 問である。試験出題基準および解答様式は国家試験に準ずる。

上記の試験で60点未満であった場合、再試験を行う。

本試験を疾病等の理由で受験できなかった場合は、再試験実施の際に同時に追試験を行 う。再試験、追試験で合格基準に満たない場合の対応は個別に検討する。

再試験は問題数 30 問とし、神経内科・脳血管障害 10 問、意識障害・脳死判定・脳神経 外科疾患 5 問、精神疾患 5 問、全身麻酔と意識と痛み 5 問、神経放射線診断学 5 問で ある。

問題の項目は下記から成る。

#### 意識障害とその病態

意識障害の原因・病態、脳死判定・臓器移植

中枢神経系疾患の画像診断

頭部単純 X 線検査、CT、 MRI、血管撮影

頭部正常解剖

外傷

脳腫瘍

脳血管障害

炎症性疾患

脱髄、変性疾患

母斑病

脊髓単純 X 線検査、CT、 MRI

脊髓正常解剖

変形性脊椎症

椎間板ヘルニア

血管病変

腫瘍

脱髄、炎症性疾患

単純 X 線検査

#### 神経系血管障害

脳梗塞

一過性脳虚血発作

脳内出血

クモ膜下出血

中枢神経系炎症性疾患

髄膜脳炎

多発性硬化症·視神経脊髓炎

神経系変性疾患

Parkinson 病および Parkinson 症候群

筋萎縮性側索硬化症(ALS)

認知症(Alzheimer 病 前頭側頭型認知症 レビー小体型認知症 脳血管性認知症)

中枢神経系占拠性病変とその病態

脳腫瘍、頭部外傷、水頭症の病態・診断・治療

精神疾患の診かたとその病態

症状性を含む器質性精神障害、精神作用物質使用による精神および行動障害 気分障害、統合失調症と類縁疾患

神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害

生理的障害、身体的要因に関連した障害

小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害

#### 麻酔

麻酔の機序

吸入麻酔

静脈麻酔

筋弛緩薬

局所 (区域) 麻酔

麻酔のリスク

周術期における生体モニター

#### ペインクリニック 集中治療

<b>■</b> ** ** **		
幺苹	111	₩.
灰石	义	<b>≖</b>
	$\sim$	書】

1. 12 2 17	\$500 50 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		0010
水野美邦	神経内科ハンドブック(第4版)	医学書院	2010
	一鑑別診療と治療		
神田 隆	医学生・研修医のための神経内科学	中外医学社	2014
	(2版)		
田崎義昭	ベッドサイドの神経の診かた	南山堂	2010
	改訂 17 版)		
	最新臨床脳卒中学	日本臨床社	2014
	―最新の診断と治療― (上)(下)		
	神経症候群(第2版)	日本臨床社	2014
	(I)(II)(III)(IV)(V)(VI)		
望月秀樹、北川一夫編集	神経内科クリニカルスタンダード	文光堂	2015
高橋昭喜	脳 MRI 1. 正常解剖	秀潤社	2005
高橋昭喜	脳MRI 2. 代謝・脱髄・変性・外傷・他	秀潤社	2008
高橋昭喜	脳MRI 3. 血管障害・腫瘍・感染症・他	秀潤社	2010
真柳佳昭	脳の機能解剖と画像診断	医学書院	2008
柳下章	エキスパートのための脊椎・脊髄	三輪書店	2015
	疾患の MRI		
野村総一郎他編	標準精神医学(第6版)	医学書院	2015
大熊輝雄	現代臨床精神医学 第 12 版	金原出版	2013
井上令一監修	カプラン臨床精神医学テキスト	メディカルサイエンス	2016
	DSM-5 診断基準の臨床への展開 第3版	インターナショナル	
児玉南海雄、峯浦一喜監修	標準脳神経外科学(第 14 版)	医学書院	2017
太田富雄総編集	脳神経外科学(改訂12版)	金芳堂	2016
端和夫監修	脳神経外科臨床マニュアル (改訂第4版)	シュプリンガー	2010
		ジャパン	
日本脳腫瘍病理学会編集	脳腫瘍臨床病理カラーアトラス (第4版)	医学書院	2017
古家 仁、稲田英一、後藤隆久編	標準麻酔科学(第6版)	医学書院	2011
土肥修司、澄川耕二編	麻酔・蘇生学(第3版)	南山堂	2008
Miller R.D.著、武田純三監訳	ミラー麻酔科学	メディカル・サイエンス・	2007
		インターナショナル	
		•	

## 領域7:運動器の機能

## (物理的原因、職業性疾患を含む)

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) および実習評価で行う。問題数は 100 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を 100 点満点換算し、60 点以上を合格とする。 試験の素点に授業出席状況による実習点を最大 15 点配分する 問題の項目は下記からなる。

運動器の構造と機能 運動器の画像診断 運動器疾患の病理 運動器の診察 代謝性骨関節疾患 四肢・脊椎の外傷 脊髄および末梢神経障害 脊椎変性疾患 四肢関節アポーツ障害・傷害 関節リウンで悪性疾患 運動器スポーツ障害・傷害 関節リウンで悪性骨軟部腫瘍 リウンで悪性骨軟部腫瘍 リクロを変化を表している。 運動器リハビリテーション

中林利孝・松野丈夫・	標準整形外科学(第13版)	医学書院	2017
鎌谷直之監修	EBM を活かす膠原病・リウマチ診療	メジカルビュー	2007
伊藤達雄・米延策雄・戸山芳昭編	リスクマネジメント 脊椎手術	南江堂	2005
野島元雄監訳	図解 四肢と脊椎の診かた	医歯薬出版	1984
土屋弘行・紺野眞一・	今日の整形外科治療指針(第7版)	医学書院	2016
田中康仁・田中栄・松田秀一編			

## 領域8:腎泌尿・性器の機能と病態

(女性生殖器を除く)

#### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は50問とする。

#### 【評価基準】

領域全体を 100 点満点換算し、60 点以上を合格とする。 問題配分としては、50 問中 腎臓内科 20 問、泌尿器 20 問、腎臓小児科 10 問である。問題の項目は下記から成る。

#### 腎・泌尿器の正常構造と機能

体液の量と組成・浸透圧

腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配

腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能

腎糸球体における濾過の機序

尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序

水電解質、酸・塩基平衡の調節機構

腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質(エリスロポエチン、ビタミン  $\mathbf{D}$ 、レニン、アンギオテンシン  $\mathbf{II}$ 、アルドステロン)の作用 蓄排尿の機序

#### 腎疾患

腎不全

原発性糸球体疾患

高血圧および腎血管障害

尿細管機能異常

尿細管·間質性疾患

全身性疾患による腎障害

#### 泌尿器疾患

腎尿路の先天異常

腎外傷

尿路結石

尿路の炎症 神経因性膀胱 腎癌 膀胱癌

### 男性生殖器の正常構造と機能

生殖腺の発生と性分化 男性生殖器の発育 男性生殖器の形態と機能 精巣の組織構造と精子形成 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序

### 男性生殖器の疾患

男性不妊症 前立腺肥大症 停留精巣 陰囊内腫瘤

### 主要症候

#### 腎疾患

脱水

浮腫

血尿・タンパク尿

アシドーシス・アルカローシス

高·低 Na 血症

高·低K血症

高·低 Ca 血症

高·低P血症

泌尿器疾患

腹痛

腹部膨隆 (腹水を含む)・膨満・腫瘤

血尿・タンパク尿

尿量・排尿の異常

勃起不全と射精障害

精巣機能障害

## 検査

腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見 糸球体濾過量(実測・推算)を含む腎機能検査法 腎生検の適応と禁忌 尿流動態検査 精巣と前立腺の検査法

## 治療

食事・栄養療法 薬物療法 輸液 血液浄化 腎移植

Brenner and Rector	The Kidney 9th ed. Saund	ders	2012
Seldin and Giebisch's	The Kidney 5th ed. Lippoin	ncott	2007
	(Physiology & Pathophysio	ology)	
Schrier	Diseases of the Kidney and p	ooincott	2012
	Urinary Tract (Diseases of the	Kidney (Schrier)	) 9th ed.
J. Charles Jennette	Heptinstall's Pathology of Lippo	incott	2014
	Kidney set 2(Pathology of the F	Kidney (Geptinsta	ll's) 7th ed.
小川 聡 編	内科学書 改訂第8版	中山書店	2013
杉本恒明、矢崎義雄	総編集 内科学 第11版	朝倉書店	2017
高久史麿ほか監修	新臨床內科学 第9版	医学書院	2009
日本腎臓学会・腎病理診断標準化	腎生検病理アトラス	病理改訂版	2010
委員会・日本腎病理協会編集	「腎生検病理診断標準化への指	針」	
東京女子医大第四内科	図説腎臓病学第3版	日本医事新報社	2005
秋葉 隆、峰島三千男	血液浄化療法	南江堂	2007
飯田喜俊、秋葉 隆	透析療法パーフェクトガイド第4版	医歯薬出版	2014
日本小児腎臓病学会編	小児腎臓病学	診断と治療社	2012
白木・前川監修	小児科学(第2版)	医学書院	2002
吉田 修編	ベッドサイド泌尿器科学(第4点	反) 南江堂	2013
北川龍一・小磯謙吉・折笠精一編	標準泌尿器科学(第9版)	医学書院	2014

P. C. Walsh他 Campbell's Urology (10th ed.) W.B. Saunders 2015

J. Y. Gillenwater他 Adult and Pediatric Urology(4th ed.) Mosby 2002

東間 紘他 腎癌のすべて 改訂版 メジカルビュー社 2014

## 領域9:感覚器の機能と病態

### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は25問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を 100 点満点換算し、60 点以上を合格とする。 問題配分としては、25 問中眼科 10 問、耳鼻咽喉科 10 問、形成外科 5 問である。 問題の項目は下記から成る。

#### 眼科

眼球および付属器の構造と機能

眼科検査法の実際とその評価法

視機能異常

眼窩、外眼部、前眼部疾患、眼球の疾患

角結膜疾患

白内障

緑内障

ぶどう膜、網膜、硝子体の疾患

ベーチェット病、サルコイドーシス、Voct-小柳-原田病 糖尿病網膜症、網膜中心静脈閉塞症、網膜中心動脈閉塞症

加齢黄斑変性症、中心性漿液性脈絡網膜症、網膜剥離

眼内腫瘍

神経眼科

全身病と眼

石原 忍創著、鹿野信一改訂	小眼科学(改訂第22版)	金原出版	1991
木下 茂監修	標準眼科学(第13版)	医学書院	2016
所 敬監修	現代の眼科学(改定第12版)	金原出版	2015
丸尾敏夫他編	眼科学(改定2版)	文光堂	2011
白神史雄他編	OCT 便利手帳	メディカルビュー社	2015
沖坂重邦	眼病理アトラス	文光堂	1992
Naumann, G.O.H. &	眼病理学	シュプリンガー	1987
Apple. D.J. (鹿野信一監訳)		フェアラーク東京	

### A) 耳領域

- 1) 正常構造と機能
- 2) 聴覚障害
  - a 外耳疾患
  - b 中耳疾患
  - c 内耳疾患
  - d後迷路性疾患
  - d 治療
- 3) 平衡障害
  - a 内耳疾患
  - b その他の疾患
  - d 治療

## B) 鼻領域

- 1) 正常構造と機能
- 2) 嗅覚障害
- 3) 鼻・副鼻腔疾患
  - a 炎症
  - b 外傷
  - c 腫瘍
  - d 治療

# C) 咽喉と頸部領域

- 1) 正常構造と機能
- 2) 咽喉と頸部疾患
  - a 炎症
  - b 外傷
  - c 腫瘍
  - d 治療

野村恭也(監修),加我君孝(編)	新耳鼻咽喉科学(改訂11版)	南山堂	2013
日本口腔・咽頭科学会著	口腔咽頭の臨床(第3版)	医学書院	2015
洲崎春海 鈴木 衛 吉原俊雄編	SUCCESS 耳鼻咽喉科 (第2版)	金原出版	2017

### 形成外科

皮膚損傷の診断と病変

- 1 皮膚損傷の基本構造
- 2 皮膚損傷の分類
  - 1)機械的損傷
    - a 開放性損傷
    - b 非開放性損傷
  - 2) 非機械的損傷
    - a 熱傷
    - b 凍傷
    - c 化学薬傷
    - d 電擊傷
    - e 放射線皮膚障害
- 3 創傷治癒現象
  - 1) 治癒過程
    - a一次治癒、二次治癒
    - b肉芽組織、瘢痕組織、ケロイド
  - 2) 治癒障害因子
    - a 全身的因子
    - b 局所的因子
- 4 顏面軟部組織損傷
  - a 顔面神経損傷
  - b 耳下腺管損傷
  - c 眼瞼損傷
  - d 涙道損傷
- 5 顔面骨骨折
  - a 鼻骨骨折
  - b 頬骨骨折
  - c 上顎骨骨折
  - d 眼窩吹き抜け骨折

#### 熱傷

- 1)原因と分類 低温熱傷
- 2) 病態

ショック期、ショック離脱期、感染期、回復期

3)診断

範囲、深度、重症度判定

4) 輸液療法

熱傷輸液公式、適正輸液の指標、感染防止、栄養管理

5) 局所療法

開放療法、閉鎖療法、減張切開、軟膏療法、創傷被覆材、温浴療法、外科的壞死組織切除、植皮

6)特殊部位の治療

気道熱傷、顔面、手、会陰部

7) 合併症

Curling 潰瘍、敗血症、急性腎不全

8)後遺症

肥厚性瘢痕、瘢痕ケロイド、瘢痕拘縮、熱傷瘢痕癌

波利井清紀監修	TEXT 形成外科学(第2版)	南山堂	2004
秦 維郎、野﨑幹弘編著	標準形成外科学(第5版)	医学書院	2008
平山 峻編	熱傷治療の実際	金原出版	1988

# 領域 10:女性・母性の健康と疾患 (女性性器を含む)

### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は 100 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

問題配分としては、7 領域(1) 悪性腫瘍診断(女性性器含む)(2) 産科手術(D&C、骨盤位、吸引分娩、帝王切開) (3) 内分泌機能検査(間脳・下垂体・性腺系、卵巣機能)(4) 不妊症治療 (5) 悪性腫瘍治療(手術療法、化学療法、放射線療法)

- (6) 婦人成人病 (更年期障害、骨粗鬆症、ホルモン補充療法)
- (7) 母子保健(母子統計、母子衛生)各分野 14~15 点とする。 問題の項目は下記から成る。

診療情報と諸証明

主要症候

主要疾患 • 症候群

保健医療論

社会保障制度と医療経済

保険・医療・福祉・介護関係法規

地域保健、地域医療

予防と健康管理・増進

人口統計と保険統計

母子保健

産業保健

人体の正常構造と機能

腎、泌尿器、生殖器

生殖、発生、成長、発達、加齢

妊娠

分娩

産褥

胎児

新生児

### 症候

腎、泌尿器、生殖器

#### 診察

胎児・新生児の診察と評価

妊・産・褥婦と胎児の診察

### 検査

妊娠・分娩・胎児・新生児の検査

先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常

妊娠の異常

分娩・産褥の異常

胎児・新生児の異常

性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害

腎・尿路・生殖器の炎症

女性生殖器の類腫瘍・腫瘍

月経異常、不妊、不育

更年期·閉経後障害

その他の尿路・生殖器異常

### 【参考図書】

前田一雄、A. Kurjak	前田/クーリャック産婦人科超音	f波 診断学(改訂新版	反)
	*	ジカルビュー社	1995
宮地 徹	産婦人科病理学診断図譜(第3版	(i) 杏林書院	1998
坂元正一、水野正彦編	プリンシプル産科婦人科学	メジカルビュー社	1998
久保春海	不妊カウンセリングマニュアル	メジカルビュー社	2001
佐藤和雄・藤本征一郎	臨床エビデンス産科学	メジカルビュー社	2006
石倉 浩ら編	子宮腫瘍病理アトラス	文光堂	2007
永田一郎	産婦人科手術の実際	文光堂	2010
池ノ上克	New エッセンシャル産科学・婦人科	斗学 医歯薬出版	2004
日本産婦人科学会	産婦人科研修の必修知識 2016-201	8	

日本産科婦人科学会 2016

# 領域:11 発生・成長・発達と小児期の疾患

### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は80問の予定。

#### 【評価基準】

① 各領域で卒業試験での問題配分 と学修すべき内容 一般小児科 75% (循環器分野を除く) + 新生児 20% + 小児外科 5%

### ② 合格基準

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

### ③問題の項目

基本的手技 チーム医療

医療の質と安全の確保 医療面接 主要症候 一般的な身体診察 検査の基本 臨床判断の基本 救急初期診察 主要疾患・症候群 治療の基本

予防と健康管理・増進

母子保健 学校保健 人体の正常構造と機能 呼吸器、胸郭、胸壁 消化器、腹壁、腹膜 血液、造血器 腎、泌尿器、生殖器 心理、精神、神経、運動器 内分泌、代謝、栄養

免疫

生食、発生、成長、発達、加齢

新生児

小児期

思春期、青年期

病院、病態生理

先天異常

感染

アレルギー、免疫異常

腫瘍

内分泌・代謝・栄養の異常

## 症候

全身症候

皮膚、外表

頭頚部、感覚器

呼吸器

消化器

血液、造血器、免疫

腎、泌尿器、生殖器

心理、精神機能

神経、運動器

内分泌、代謝、栄養

## 診察

二次・三次救急の診察

小児の診察

胎児・新生児の診察と評価

#### 検査

検体検査

生体機能検査

心理·精神機能検査

妊娠・分娩・胎児・新生児の検査

画像検査

内視鏡検査

#### 治療

食事・栄養療法

薬物療法 輸液、輸血、血液浄化 放射線治療 内視鏡治療 リハビリテーション

先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常

胎児・新生児の異常

性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害

精神 · 心身医学的疾患

小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害 皮膚・頭頚部疾患

その他の皮膚疾患

喉頭疾患

奇型

呼吸器 · 胸壁 · 縦隔疾患

感染性呼吸器疾患

気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷

肺循環異常

気管支・肺・胸膜・縦隔の腫瘍

消化器・腹壁・腹膜疾患

胃·十二指腸疾患

小腸・結腸疾患

直腸・孔紋疾患

消化管共通疾患

肝疾患

胆道疾患

膵疾患

横隔膜・腹膜・腹壁疾患

急性腹症

異物

その他の重要な小児領域の疾患

血液·造血器疾患

赤血球系疾患

白血球系疾患とその他の骨髄性疾患

リンパ系疾患

出血性疾患と血栓傾向 その他の重要な小児領域の疾患

腎,泌尿器,生殖器疾患

糸球体病変

血管 • 尿細管 • 間質病変

腎機能の障害による異常

腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患

腎・尿路・生殖器の炎症

腎・尿路・男性生殖器の腫瘍

女性生殖器の類腫瘍・腫瘍

神経•運動器疾患

脳血管障害

脳腫瘍

神経・運動器の感染性・炎症性疾患

神経変性・代謝性・脱髄疾患、中毒

末神経•神経接合部•筋疾患

発作性・機能性・自律神経系疾患

骨・軟部腫瘍と類似疾患

脳・脊髄の奇型、神経皮膚症候群

その他の重要な小児領域の疾患

内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患

間脳 • 下垂体疾患

甲状腺疾患

副甲状腺

副腎皮質・髄質疾患

その他の内分泌疾患

糖(質)代謝異常

タンパク・アミノ酸代謝異常

その他の代謝異常

その他の重要な小児領域の疾患

アレルギー性疾患、膠原病、免疫病

アレルギー性疾患

膠原病と類縁疾患

原発性免疫不全症

その他の重要な小児領域の疾患

感染性疾患

# ウイルス マイコプラズマ 最近(抗酸菌〈マイコバクテリア〉を除く)

衛藤義勝 (監)	ネルソン小児科学原著(第 19 版)	エルゼビア・	2015
五十嵐隆、大澤真木子ら編		ジャパン	
内山 聖(監)、原 寿郎、	標準小児科学(第8版)	医学書院	2013
高橋孝雄、細井 創編			
佐地 勉、有阪 治、	講義録小児科学	メジカルビュー社	2008
大澤真木子ら編			
鈴木康之編	小児疾患<よくわかる病態生理 15>	医事新報社	2008
大関武彦、近藤直実(総編集)	小児科学(第3版)	医学書院	2008
飯沼一宇、有阪 治、	小児科学・新生児学テキスト	診断と治療社	2007
竹村 司ら編	(第5版)		
清野佳紀ら編	NEW 小児科学(改訂第2版)	南江堂	2003
加藤裕久 (主編集)	ベッドサイドの小児の診かた(改訂2版)	南山堂	2001

## 領域:12 社会環境と保健医療

### 【評価方法】

多肢選択テスト (MCQ) で行う。問題数は 100 問程度とする。

#### 【評価基準】

領域全体を100点満点換算し、60点以上を合格とする。

問題配分としては、100 問中、衛生学 20 問、公衆衛生学 20 問、国際環境・熱帯医学 20 問、法医学 20 問、医療・病院管理学 20 問である。

問題の項目は下記から成る。

#### 保健医療論

健康の概念と社会環境

医の倫理、患者の人権

保健・医療・福祉・介護の仕組み

地域保健、地域医療

保健・医療・福祉・介護の資源

社会保障制度と医療経済

国際保健

診療情報と諸証明書

保健·医療·福祉関係法規

#### 予防と健康管理

予防医学と健康保持増進

疫学とその応用

人口統計

生活習慣とリスク

母子保健

学校保健

成人 · 高齢者保健

産業保健

精神保健福祉

感染症対策 国民栄養と食品保健 環境保健

### 病因、病態

中毒

医原病

死

## 生活環境因子・職業性因子による疾患

物理的原因による疾患およびその他の生活環境因子による障害 食中毒および病害動物による疾患 アルコールによる障害および薬物依存・中毒 産業中毒およびその他の職業性疾患

(厚生の指標/臨時増刊)	国民衛生の動向	厚生統計協会	年刊
田中宣幸他	学生のための法医学	南山堂	2006
金川琢雄	実践医事法学	金原出版	2008
吉田幸雄	図説人体寄生虫学(第8版)	南山堂	2011
鈴木庄亮、久道 茂編	シンプル衛生公衆衛生学 2017	南江堂	2017
岡崎 勲他編	標準公衆衛生·社会医学	医学書院	2009
池上直己	ベーシック医療問題入門(第4版)	日本経済新聞社	2010
日本国際保健医療学会編	国際保健医療学(第3版)	杏林書院	2013

科目名	健康管理									
科目責任者(所属)	内田啓子 (学生健康管理室)									
到達目標	医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学の理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても6年間かけけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。									
アウトカム・ロード	1) 自己の認識ができることにより他者をうけいれることができる	T 4 A (7 0) 0								
マップに係わる到達目標/項目番号		I -4-A-(1-2)-① I -6-B-(5-6)-③ II -2-D-(3-4)-① II -2-E-(5-6)-① II -4-A-(3-4)-① II -4-A-(3-4)-②								
	2) 自分の生活のリズムと食生活を整えることができその方法や必要性を説明できる									
	3) 医学部学生のとしての感染管理の必要性を理解した上で実践できる 4) リーダーとしてメンバーとしての役割を認識し実践できる	$\begin{split} & I - 6 - A - (1 - 2) - (1) \\ & I - 4 - A - (1 - 2) - (1) \\ & II - 4 - B - (1 - 2) - (3) \\ & II - 4 - C - (1 - 2) - (1) \\ & II - 4 - C - (1 - 2) - (2) \\ & II - 4 - C - (1 - 2) - (3) \\ & II - 4 - C - (3 - 4) - (1) \\ & II - 4 - C - (3 - 4) - (2) \\ \end{split}$								
	5) ストレスへの対処方を理解し実践できる	II -4-A-(1-2)-①								
	6) 病院実習における健康管理を理解し実践できる	I -1-C-(3-4)-② I -6-A-(5-6)-①								
	7) 女性としての心と身体の健康管理について理解し実践できる	I -4-A-(1-2)-① II -2-C-(1-2)-①								
	8) 医療従事者としての健康管理について理解し説明できる	I -1-C-(3-4)-2 I -6-A-(5-6)-1								
	9) 女性のキャリアと健康について理解できる  10) 学生健康管理行事の必要性について理解し実践できる	$\begin{split} & \Pi - 2 - C - (1 - 2) - \vec{0} \\ & \Pi - 2 - C - (3 - 4) - \vec{2} \\ & \Pi - 2 - C - (3 - 4) - \vec{3} \\ & \Pi - 2 - E - (3 - 4) - \vec{0} \\ & \Pi - 2 - E - (5 - 6) - \vec{0} \\ & \Pi - 2 - C - (5 - 6) - \vec{0} \\ & \Pi - 2 - D - (5 - 6) - \vec{0} \\ & I - 1 - B - (3 - 4) - \vec{3} \\ & I - 6 - A - (1 - 2) - \vec{0} \\ & \Pi - 5 - B - (1 - 2) - \vec{0} \end{split}$								
学修(教育)方法	講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診									
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、そ価する。総括的評価の対象とはしない	の他)を形成的に評								
評価方法	1) 自己の認識	A-9-1) 234								
(2)評価項目 ※評価項目には、 「平成28年度改訂版	2) 生活のリズムと食生活	C-5-5) ② A-6-3) ① A-9-1) ②③ B1-4) ②③								
医学教育モデル・コ ア・カリキュラム」 の学修目標と項目番	3) 医学部学生の感染管理	A-6-3) ① B-1-8) ②								
号 (S10のみ医師国家 試験出題基準の大・ 中項目と項目番号)	4) リーダーとしてメンバーとして	A-2-2) ① A-4-1) ② C-5-7) ①								
を記載。	5) ストレスへの対処方	A-9-1) ②③④ B-1-5) ④ C-5-4) ④								
	6) 病院実習における健康管理	A-6-3) ① ④ F-3-2) ①								
	7) 女性としての心と身体の健康管理	B-1-6) (4) B-4-1) (6)								
	8) 医療従事者としての健康管理	G-4-1) ② A-2-1) ⑤ A-6-3) ① A-9-1) ①②③④ B-4-1) ③ E-2-4) ①②③								

	9)	女性のキャリアと健康				A-9-1) 34 B-1-5) 6					
	10)	健康管理行事				B-6-1) (4)					
評価方法 (3)評価基準	上記	上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する									
伝達事項	健康	建康管理行事に理由無く欠席しないこと									
参考図書	No.	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN					
	1	健康行動と健康教育	【訳】曽根智史ら	医学書院	2006	978-4-260-00350-6					
	2	近代日本の女性専門職教育	渡邊洋子	明石書店	2014	978-4-7503-4097-5					
	3	吉岡弥生 吉岡弥生伝	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター	1998	4-8205-4308-3					
	4	最新 行動科学からみた健康と病気	123-	メヂカルフレンド社	1996	978-4-8392-1025-0					
	5	最新 保健学講座(別巻1)健康教育 論	宮坂忠夫・川田智惠子・ 吉田亨	メヂカルフレンド社	2006	978-4-8392-1282-7					
	6	学生のための健康管理学(改訂2 版)	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂	2007	978-4-525-62052-3					
	7	最新 女性心身医学	本庄英雄監修、女性心身医学 会編	ぱーそん書房	2015	978-4907095246					
	8	TEXT BOOK 女性心身医学	玉田太朗・本庄英雄編集責 任、日本女性心身医学会編	永井書店	2006	978-4-8159-1760-9					
	9	コンサイスガイド 女性のためのメ ンタルヘルス	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社	1999	4-535-98163-9					
	10	健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか	近藤克則	医学書院	2005	978-4-260-00143-4					
	11	格差社会と健康 社会疫学からのア プローチ	川上憲人・小林廉毅・橋本英 樹編	東京大学出版会	2006	4-13-060406-6					
関連リンク	No.	URL名称		URL							
	1	日本環境感染学会 医療者関係者 のためのワクチンガイドライン第 2版		org							
	2	文部科学省 学校において予防すべき感染症の概説	http://www.mext.go.jp/a	menu/kenko_							
	5				***************************************						

## 基礎研究医養成プログラム

#### 1. 概要

本学基礎医学系の研究者・教育者を養成するために、本学医学部(4~6年次)に在籍する者が医学部基礎医学系講座(または先端生命医科学系専攻)に所属登録し、本学医学研究科大学院の単位を仮単位として履修し、初期臨床研修の2年間を基礎医学系大学院(機能学系、形態学系、社会医学系または先端生命医科学系専攻)の1~2年次と兼ねることができるプログラムとする。

#### 2. 資格

次の事項にすべて該当すること

- ・本学医学部4、5または6年次に在籍する者
- ・所属を希望する本学基礎医学系講座の教授・講座主任(または先端生命医科学系専攻の大学院教授)から推薦のあった者
- ・初期臨床研修を東京女子医科大学内の病院で行う予定の者
- ・上記の資格要件に該当しない場合、必要に応じて教務委員会において審議する。

#### 3. 人員

各講座(または専攻)につき若干名(指導する基礎医学系講座の教授・講座主任または先端生命 医科学系専攻の大学院教授の判断による)

#### 4. 登録

次の書類をそろえ、随時、学務課に提出する。

- ・ 基礎研究医養成プログラム登録申請書 (志望理由、研究希望内容など)
- ・登録を希望する本学基礎医学系講座の教授・講座主任(または先端生命医科学系専攻の大学院教授)による推薦書

#### 5. 登録許諾

教務委員会において、個別に審議し、許可する場合は大学院委員会の承諾を得る。

- 聿粨寀杏
- ・必要に応じて面接(志望者および当該教授・講座主任または大学院教授)

#### 6. 登録取り消し

- 1) 理由書を付して教務委員会に提出する。
- 2) 教務委員会において、個別に審議し、取り消す場合は大学院委員会の承諾を得る。

#### 7. 履修科目および単位数

医学部在籍中(4~6年次)に、大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」に定める学科目のうち、次のものを履修し、仮単位とすることができる(大学院修了に必要な最低修得単位数30単位のうち、最大24単位まで)。

- ・大学院共通カリキュラム: 実習(機能学系、形態学系、社会医学系、先端生命医科学系専攻の 実習) 4単位(2系の実習)
- ・大学院共通カリキュラム:教授・講座主任による講義 5単位(講義25コマ)

(注釈:開催時間を17時以降に変更する)

- · 主分野 15 単位
- 1)履修方法は、東京女子医科大学大学院学則ならびに大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」による。
- 2) 主分野については、大学院要項のシラバスに示す項目のほか、学内および学外で開催される カンファレンス、セミナー、シンポジウム、学会、研究活動などをもって代えることができ る(注釈:今後内容を吟味し、規定する)。
- 3) 主分野については、受講後、所定の様式による「仮単位申請書」を大学院委員会に提出する
- 4) 医学部在籍中の本プログラムによる履修に要する学生の費用負担はない。

8. 履修学科目、仮単位の認定

大学院委員会において、「仮単位申請書」により個別に審議する

- 9. 本学大学院入学
  - 1) 6年次に前期(または後期)大学院入学試験を受験する。
  - 2) 基礎医学系大学院(機能学系、形態学系、社会医学系または先端生命医科学系専攻)を選ぶ。
  - 3) 分野は原則として医学部在籍中に登録した基礎医学系講座と同一の分野または登録した先端 生命医科学系専攻と同一の所属とする。
  - 4) 入学許可後、8. において認定した仮単位を既修得単位とする。

#### 10. 初期臨床研修

- 1) 原則として、研修先は東京女子医科大学内の病院に限る
- 2) それぞれの病院の初期臨床研修規定に従う。
- 3) 初期臨床研修2年間を本学大学院1~2年次と兼ねる。
- 11. 大学院における学科目の履修、単位修得、修了要件、学位など
  - 1) 東京女子医科大学大学院学則に従う。
  - 2) 本プログラムに所属する大学院生が履修する主分野については、講義・実習開催時間を 17 時~20 時とする。

#### 12. 大学院修了後

研究の継続を希望する場合、何らかの便宜を図り、その研鑽を支援する。 (所属分野の特任助教、留学など、少なくとも数年間) Ⅱ 領域別講義スケジュール

# [領域1]

# 科目責任者:坂井 修二(画像診断学・核医学)

(講義)

旦	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当	教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/08/27	月	09:00	10:10	病理診断科	長嶋	洋治	病理組織診断(細胞 診含む)	臨床講堂1	必修9L①②、総論VIIIIG①-⑦
2	2018/08/27	月	10:25	11:35	八千代医療センター 消化器外科	太田	正穂	内視鏡による診断	臨床講堂1	必修90⑥、必修12F①②③④⑤⑫、医学総論 VIII7A③-⑥、医学総論VIII7B⑥-⑨、医学各論 VI1A①、医学各論VI1B①、医学各論VI1D①、医 学各論VI1E①、医学各論VI2C②③⑤、医学各論 VI2D①②③、医学各論VI3C②③、医学各論VI7D ①、医学各論VI9A①、医学各論VI12C①
3	2018/08/27	月	12:30	13:40	総合診療科	川名	正敏	全身症候	臨床講堂1	医学総論VI1B、医学総論VI1C、医学総論VI1D、 医学総論VI1E、医学総論VI1F、医学総論VI1G、 医学総論VI1H、医学総論VI1I、医学総論VI1J、 医学総論VI1K
4	2018/08/27	月	13:55	15:05	乳腺・内分泌外科	岡本	高宏	臨床診断の基本 (EBM、効果判定基準 等)	臨床講堂1	必修10A①-⑧、必修10B①-⑨、必修10C①②、総論II3A①-⑤、総論II3B①②③、総論II3C①② ③、総論II3D①②③④、総論II3E①②、総論 II3F①②
5	2018/08/28	火	09:00	10:10	救急医学	矢口	有乃	救急患者の初期対応	臨床講堂1	必修7A⑤⑥、必修8D③、必修11A①⑦、必修11B ①⑪、必修11C①②③④⑦⑧⑰®⑲、必修11D① ②、医学総論I6E①⑦、医学総論I6F①⑤、医学 総論V7D①④、医学総論VII1B①⑭⑮、医学総論 IX10A①⑰、医学総論IX10B①-④、医学総論 IX10D⑩
6	2018/08/28	火	10:25	11:35	臨床検査科	佐藤	麻子	一般検査	臨床講堂1	必修9D①、必修9F①②、必修9H①②、必修9I ③、必修10B⑦⑧、必修10D①-④、必修12G①、 必修12J②、医学総論Ⅲ6A⑥、医学総論Ⅲ7A①、 医学総論Ⅲ9A③、医学総論VI7D①④⑦、医学総 論VI7D①④⑦、医学総論VI1A⑩、医学総論Ⅷ1B ①②、医学総論Ⅶ1D①②③⑤⑥、医学総論Ⅷ1F ③
7	2018/08/28	火	12:30	13:40	神経内科学	飯嶋	睦	臨床神経生理学的検 査	臨床講堂1	必修9N⑤⑥、医学総論VI9B①、医学総論VI9G①②、医学総論VI9I④、医学総論VI9L②③、医学各論IX4G①、医学各論IX5A①、医学各論IX5D①②⑥、医学各論IX6A①、医学各論IX6B①
8	2018/08/28	火	13:55	15:05	内科学(第一)	武山	廉	内視鏡による診断	臨床講堂1	必修90⑥、必修13A⑦、医学総論Ⅲ3B①、医学総論Ⅶ7A②⑥、医学総論Ⅷ7B③④、医学総論Ⅷ7C ①-④
	2018/08/29					坂井	修二	臨床画像の成立ちと 読影の基本	臨床講堂1	必修90①②④⑤、総論VII6B①-⑤、総論VII6C①②、総論VII6D①-⑤、総論VII6E①-④、総論VII6F①②、総論VII6G①②③、総論VII6H①②③、総論VII6I①②③、総論VII6I①②③、総論VII6I①②③、総論VII6I①-⑤、総論VII6N①-⑥、総論VII6O①-④、総論VII6P①②③、総論IX7A①-④、総論IX7B①-⑩、総論IX7B①-⑩、総論IX7B①-⑩
10	2018/08/29	水	10:25	11:35	八千代医療センター 消化器外科	片桐	聡	超音波検査による診 断	臨床講堂1	必修90③、総論Ⅷ6A①-⑥、各論Ⅵ1-12、各論Ⅷ -6、7、10
11	2018/08/29	水	12:30	13:40	総合診療科	島本	健	心電図、心音図等の 見かたと疾患毎の検 査所見の理解	臨床講堂1	必修9N②③、必修90③、医学総論III4A①-③、 医学総論V7A①②③④、医学総論V7B①②、医学 総論V7D①-④、医学総論V7E①②、医学総論 V7F、医学総論V14G、医学総論V14H、医学総論 V14J①-⑥、医学総論V14K①-⑦、医学総論 V14L、医学総論V14M①②③、医学総論VIIIB①- ⑧、医学総論VIIIIC①-⑥、医学総論VIIID①- ②、医学総論VIII2B①-⑥、医学総論IX2A①② ③、医学総論IX2B①-④、医学総論IX2C①-④、 医学総論IX2D①-⑦、医学総論IX2E①②③、医学 総論IX2D①-⑦、医学総論IX2E①②③、医学
12	2018/08/29	水	13:55	15:05	血液内科	萩原將	—— 客太郎	血液疾患の血液像(骨 髄及び末梢血塗抹標 本)	臨床講堂1	必修126①-④、総論III6A①-④、総論Ⅶ1C②④

E	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	担当教員氏名   試験内容	
1	2018/09/03	月	09:30	11:15	画像診断学・核医学	坂井 修二	領域 1 試験(試験 方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域2]

# 科目責任者:萩原 誠久(循環器内科学)

# (講義)

口	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/08/27	月	15:15	16:25	内科学(第一)	桑平 一郎	呼吸機能	臨床講堂1	医学総論III3A①、医学総論III3B④、医学総論III3C①⑤-⑩、医学総論III3D①②、医学総論VIII2A①-⑦
2	2018/08/30	木	10:25	11:35	内科学(第一)	多賀谷 悦子	アレルギー性肺疾患	臨床講堂1	必修7D①-⑥、医学総論III3B①③、医学総 論III3C①④、医学総論VI4B①②④、医学総 論VI4C①②、医学総論VI4D④、医学総論VIF ③④、医学各論IV3A①-③、医学総論VIF③ ④、医学各論IV3A①-③、
3	2018/08/30	木	12:30	13:40	外科学 (第一)	神崎 正人	呼吸器疾患の外科治療	臨床講堂1	必修7D①②、医学総論III3A①③④、医学総論VI4B①-④、医学各論IV6A①②、医学各論IV6B①②、医学各論IV6D①、医学各論IV7A①-③、医学各論IV7B①-④
4	2018/08/31	金	09:00	10:10	循環器小児科	杉山 央	先天性心疾患の診断と治療	臨床講堂1	必修7D⑥、医学総論III4A①③④、医学総論IV4B④、医学総論VIB①②④、医学各論V3A①-④、医学各論V3C①-⑨。
5	2018/08/31	金	10:25	11:35	心臟血管外科学	新浪 博	心血管疾患の外科治療	臨床講堂1	必修7D⑦、医学総論III4A①-⑫、医学総論 VIB①②④、医学各論V4①②、医学各論V4B ①②、医学各論V4C①②、医学各論V5A①、 医学各論V5B①、医学各論V8A①-⑥
6	2018/08/31	金	12:30	13:40	循環器内科学	萩原 誠久	虚血性心疾患・心不全・不 整脈	臨床講堂1	必修7D⑦-⑫、医学総論III4A①-⑫、医学総論VIII2A①-⑦、医学各論VIA①-⑤、医学各論VIB①-③、医学各論VID①②、医学各論VD①②医学各論V2A①-④、、医学各論VA①-④

_	(4 4.04)							
口	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/09/04	火	09:00	11:35	循環器内科学	萩原 誠久	領域2 試験(試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域3]

# 科目責任者:石黒 直子(皮膚科学)

# (講義)

旦	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/09/05	水	09:00	10:10	感染症科	菊池 賢	感染系(感染症の診断・治療 の原則)	臨床講堂1	必修7A①②⑤⑥、必修7D①-③、必修6D①-⑫、必修8A①、必修8B①-④、必修8D①-⑤、必修8F②-④、必修8G③、必修8K②、必修9K①-⑤、必修12D①-③、必修12F⑪、必修12I⑥、医学総論118A①-④、医学総論V4A①-③、医学総論VIIIF①-⑦、医学総論VIIIIE②、医学総論VIIIIF①-⑦、医学総論IX2A①-③、医学総論IX2B①-③、医学総論IX2F⑧、医学各論XI12A①-⑦、医学各論XI13A①-⑪、医学各論XI14A①-③、医学各論XI15A①-⑨、
2	2018/09/05	水	10:25	11:35	感染症科		感染系(臓器別感染症、起因 微生物別感染症の実例とその 病態)	臨床講堂1	医学各論IVIA①②、医学各論IVIB①-③、医学各論IVIC①、医学各論IVID①②、医学各論IVIG①-③、医学各論VIG①-③、医学各論VIGO③、医学各論VIII5A①-③⑤⑥、医学各論VIII5B①-⑧、医学各論VIII5C①-⑧、医学各論VIII5D①-④、医学各論IX3D①-④、医学各論IX3F①-④、医学各論XII
3	2018/09/05	水	12:30	13:40	血液内科学	吉永 健太郎	血液系(白血病)	臨床講堂1	医学各論 V I I 2C①-⑥、医学各論 V I I 3C①、 医学各論 V I I 2C③、医学各論 V I I 2C④、医学 各論 V I I 2C⑥、医学各論 V I I 2C⑥、医学各 論 V I I 2C⑥、医学各論 V I I 3C①-⑧、医学 各論 V I I 3D①、医学各論 V I I 4B④
4	2018/09/05	水	13:55	15:05	血液内科学	志関 雅幸	血液系(貧血)	臨床講堂1	必修 7 A①-③、必修 7 D⑤⑨⑩、必修 7 F①-③、 必修 7 D⑤⑨⑩、必修 8 E②、必修 9 A①-③、必修 9 G①-③、必修 1 2 G①、必修 1 3 A②、医学総論 VI 6 A、医学総論VIII 1 C②-④、医学総論VIII 1 H ①④、医学各論VII 1 A①②、医学各論VII 1 B① ②、医学各論VII1C①-⑤、医学各論VII1D①-④、 医学各論VIIIE①②
5	2018/09/06	木	09:00	10:10	皮膚科学	常深祐一郎	皮膚系(重要疾患のまとめ)	臨床講堂1	医学総論Ⅲ3A①-③⑦-⑨⑪⑫、医学各論Ⅲ1A①、医学各論Ⅲ1E②-④、医学各論Ⅲ1F①-③、医学各論Ⅲ2B①②、医学各論Ⅲ2F①-⑤⑦、医学各論Ⅲ3D①、医学各論XI2A①-③、医学各論XI2D②⑤⑥
6	2018/09/06	木	10:25	11:35	皮膚科学	石黒 直子	皮膚系(臨床像から考える診 断と治療法)	臨床講堂1	医学総論Ⅷ3A①⑦-⑨⑪、医学総論Ⅵ2A①-⑫ ⑮⑯、医学総論Ⅵ2N、医学総論Ⅵ20、医学各論 Ⅲ1A①、医学各論Ⅲ1B①、医学各論Ⅲ1E③、 医学各論Ⅲ1I、①、医学各論Ⅲ2A①、医学各論 Ⅲ2E①、医学各論Ⅲ2F⑤⑦、医学各論Ⅲ3B①- ③、医学各論Ⅲ3J④⑤、医学各論Ⅲ3L①、医学 各論XI1B④⑤、医学各論XI2A③④、医学各 論XI2B⑦、医学各論XI1A⑧⑪⑫⑭⑲⑳

口	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名 試験内容		試験会場			
1	2018/09/10	月	09:00	11:35	皮膚科学	石黒	IH —	領域3 MCQ)	試験	(試験方法:	臨床講堂1

# [領域4]

# 科目責任者:徳重 克年(消化器内科学)

# (講義)

E	ij	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	. 4	2018/09/11	火	09:00	10:10	消化器外科学	山本 雅一	消化器疾患の外科治療(急性腹症 を含む)	臨床講堂1	必修の基本的事項12F③⑤⑫⑯ ⑰⑲②、医学各論VI3B④⑤、 3C①、4A①、4B①、4C①②、 4D①②、4E①、6C①-④、8B① ②③、10A①②、10B①、10C ①、10D①②③④、10E①
2	2 4	2018/09/11	火	10:25	11:35	消化器内科学	徳重 克年	消化器疾患診察ポイント	臨床講堂1	医学総論5A①②、B①-⑦、C① ②③、D①②、E①②③、F① ②、G①②、H①②、I①②、J ①②③、K①②
3	3 2	2018/09/12	水	09:00	10:10	消化器内科学	徳重 克年	肝炎から肝硬変へ	臨床講堂1	必修の基本的事項12F⊌協協、 医学総論Ⅲ5℃2②④、医学 各論Ⅵ6A①、6B①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨、6℃2③④、6D① ②、6E①②③③④⑤、7A① ②、7B①②③、7℃2③、7D ①
4	1 2	2018/09/12	水	10:25	11:35	消化器外科学	板橋 道朗	下部消化管疾患	臨床講堂1	必修の基本的事項12F9⑩⑪⑫ ⑬⑳㉑⑵②、医学各論VI 5 A ③、6B①、6C①、6E①-⑤、7A ①②、7B①②③、7C①②③、 7D①
5		2018/09/13	木	09:00	10:10	消化器内科学	清水 京子	胆・膵疾患の診断と治療	臨床講堂1	必修の基本的事項12F⑰®⑲、 医学各論VI8A①②③、8B①② ③
6	5 2	2018/09/13	木	10:25	11:35	消化器内視鏡科	岸野 真衣子	上部消化管疾患-内視鏡診断と治 療	臨床講堂1	必修の基本的事項12F①-⑥、 医学総論Ⅲ5B①-⑨、医学各論 Ⅶ5A①②5B②③5D①

□	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/09/18	火	09:00	11:35	消化器内科学	徳重 克年	領域 4 試験 (試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域5]

# 科目責任者:馬場園 哲也(第三内科学)

# (講義)

	(HI1474)	_	_	_					
E	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/09/19	水	09:00	10:10	内科学(第二)	市原 淳弘	視床下部・下垂体・副腎疾患	臨床講堂1	必修 7 J①、医学総論Ⅲ9A①- ⑤、医学各論X1A④、医学各 論X1B①-⑧、医学各論X4A①- ⑥
2	2018/09/19	水	10:25	11:35	内科学(第二)	市原 淳弘	その他の内分泌疾患(性腺・MEN・ ホルモン受容体異常症など)	臨床講堂1	必修7K①、必修7L⑥、必修7D ②、医学総論VI10A、医学総 論VI10B①、医学総論VI10C ①、医学総論VI10D①、医学 各論XIA①②③、医学各論X5A ①②、医学各論X4B①②
3	2018/09/20	木	09:00	10:10	内科学(第三)	馬場園 哲也	糖尿病の病態・診断・治療・急性合併症	臨床講堂1	必修12J②③、医学総論Ⅲ9B ①-④、医学総論V8B①、医 学総論VI10A、医学総論VI 10E、医学総論VII1B①、医学 総論VII1D⑤⑥、医学総論VI 2E、医学総論VI7D②、医学総 iX1A③④、医学各論 I 1C ②、医学各論X6A①-④、医学 各論X6B①②③、医学各論X6C ①-⑤、医学各論X6D①-⑥
4	2018/09/20	木	10:25	11:35	内科学(第二)	谷田部 緑	甲状腺・副甲状腺疾患	臨床講堂1	必修12J①⑤、医学総論V8A① ②、医学各論X2A①②、医学 各論X2B①②③、医学各論X2C ①②③④、医学各論X3A① ②、医学各論X3B①②③④
5	2018/09/21	金	09:00	10:10	内科学(第三)	馬場園 哲也	糖尿病慢性合併症(腎・神経・網 膜)	臨床講堂1	医学総論WI2G①②、医学総論WI2J③、医学総論WI3B②③ ④⑫、医学総論WI3C①②、医学総論WI7D①、医学総論VI9J①② ④、医学総論VI9J①②。医学総論X5D①、医学総論X5B①。②、医学格論III4C②-⑤、医学各論III40②、医学各論WI10D④、医学各論WI10D④、医学各論X162③④、医学各論X5A②、
6	2018/09/21	金	10:25	11:35	膠原病リウマチ痛風セン ター	谷口 敦夫	高脂血症・痛風・高尿酸血症	臨床講堂1	必修12J④、医学総論VI9N⑥ ⑦、医学各論VⅢ2B③、医学各 論X9B①②
7	2018/09/21	金	10:25	11:35	八千代医療センター糖尿 病・内分泌代謝内科	橋本 尚武	高脂血症・痛風・高尿酸血症	臨床講堂1	必修12J③、医学総論Ⅲ9B① ②③、医学各論X7A①②

Г	T		w=1=1	BB 1.7					
	回	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名 試験内容		試験会場
	1	2018/09/25	火	09:00	11:35	内科学(第三)	馬場園 哲也	領域 5 試験 (試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域6]

科目責任者:北川 一夫(神経内科学)

## (講義)

口	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員	氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/09/26	水	09:00	10:10	画像診断学・核医学	阿部 香作	弋子	神経放射線診断学	臨床講堂1	必修90①②④⑤、医学総論Ⅲ8C ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑪⑭、医学 総論Ⅲ8D①-⑤、医学各論IX 1ABCDE、医学各論IX2ABC、医学 各論IX3AB、医学各論IX4ABDFH、 医学各論IX7A、医学各論IX
2	2018/09/26	水	10:25	11:35	麻酔科学	尾崎 眞		全身麻酔と意識と痛み	臨床講堂1	医学総論IX治療4A①②⑦、医学総論IX治療4D①②③、医学総論IX治療4E①-④、医学総論IX治療4F①-③④、医学総論IX治療4G①-⑰、医学総論IX治療4H①-⑧。 ⑤、医学総論IX治療4I①-⑥、医学総論IX治療4J①-⑤
3	2018/09/27	木	09:00	10:10	精神医学	西村 勝河	台	精神疾患	臨床講堂1	必須の基本事項7H①-⑥、医学総論III、8A①-⑩、医学各論II、 1-5 (ここでは精神疾患すべてを 包括するので、大項目1から5す べてが選択されます)
4	2018/09/27	木	10:25	11:35	神経内科学	北川 一刻	夫	脳血管障害	臨床講堂1	医学各論IX1
5	2018/09/27	木	12:30	13:40	神経内科学	北川一美	夫	神経内科疾患	臨床講堂1	医学各論IX3、医学各論IX4、医学各論IX5、医学各論IX6
6	2018/09/28	金	09:00	10:10	脳神経外科学	川俣 貴-	_	意識障害と脳死判定	臨床講堂1	必修7A⑥、11C③、12I⑩、15A ①、 医学総論VI1E、VI80①② ③、VII1B②、IX5B②④⑤、IX10D ③、医学各論IX2A①-④、B①- ④、C①②、D①、IX10A①-⑧、 IX10I①②③

П	] 試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/10/01	月	09:00	11:35	神経内科学	北川 一夫	領域 6 試験(試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域7]

# 科目責任者:岡崎 賢(整形外科学)

# (講義)

п	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/10/02	火	09:00	10:10	整形外科学	和田 圭史	整形外科診断、治療の総論、基礎 科学、腫瘍、小児	臨床講堂1	必修7I③-⑪、必修8J① ②③、必修8K③④⑤、 総論III8E①-⑥、総論 IV8B⑧、総論VI9I①② ③、各論IX9、
2	2018/10/02	火	10:25	11:35	整形外科学	和田 圭史	脊椎の外傷、炎症、変性、スポー ツ、リハビリ	臨床講堂1	必修12I⑩⑪⑫、総論 V19L⑪②③、M⑪②、総 論IX10D⑧、各論IX3F⑪ -④、各論IX5B⑪②、C ③、各論IX7ABC、各論 IX10B
3	2018/10/03	水	09:00	10:10	整形外科学	岡崎 賢	四肢関節の外傷(総論、骨折、脱 臼、靱帯損傷)	臨床講堂1	必修11A④、必修12I ⑭、総論IX10D①②⑦⑩ ⑪⑫、各論IX10CDEFGH
4	2018/10/03	水	10:25	11:35	整形外科学	岡崎 賢	非外傷性関節疾患	臨床講堂1	必修12I⑬、総論VI9N① ②③④⑤⑥⑦⑧、総論 IX5D⑤、各論IX8
5	2018/10/04	木	09:00	10:10	膠原病リウマチ痛風センター	山中 寿	リウマチ性疾患	臨床講堂1	必修 7 A①②、I⑨⑩ ⑪、必修9I①②③、必 修12K①②③、総論 III、10C、総論V5A②B ①、総論V12ADE、総論 V19E①③⑥、総論IX2F ⑦
6	2018/10/04	木	10:25	11:35	膠原病リウマチ痛風センター	山中 寿	膠原病・アレルギー	臨床講堂1	各論IV3B①③④⑤、各 論VIII、1D、各論IX8H ①②、各論X9B、各論 XI1A、各論XI2ABCD

I	可 試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名		試験内容			試験会場
	2018/10/09	火	09:00	11:35	整形外科学	岡崎	取貝	領域 7	試験	(試験方法:MCQ)	臨床講堂1

# [領域8]

# 科目責任者:新田 孝作(第四内科学)

# (講義)

П	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/10/10	水	09:00	10:10	泌尿器科学	田邉 一成	性分化の異常、腎・尿路・男性生殖器の腫瘍、尿路・生殖器異常	臨床講堂1	必修5D2、7L6、8I12、9C12、 医学総論Ⅲ7C1、7D1、IV 4B7、VI7G1、Ⅷ1A12、Ⅷ 1H123、医学各論 I 4B12、 4C123、Ⅷ10B13、10C12
2	2018/10/10	水	10:25	11:35	泌尿器科学	石田 英樹	腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患、 腎・尿路・生殖器の炎症	臨床講堂1	必修76123、86123、9C12、 12H5、医学総論Ⅲ7B12、VI 7A12、7B12、7C1、7D4、VⅢ 1A12、Ⅷ6J123、Ⅷ6M123、IX 3A12、IX4A12、医学各論Ⅷ 4A12、4B12、4C12
3	2018/10/11	木	09:00	10:10	学生健康管理室	内田 啓子	糸球体病変 (腎炎・ネフローゼ症 候群、全身性疾患と腎障害)	臨床講堂1	各論WII123、各論1B1234、各 論1C1234、各論1D123456、各 論1E12、各論1F123
4	2018/10/11	木	10:25	11:35	腎臓小児科	服部 元史	小児腎疾患(学校検尿、蛋白尿・ 血尿、腎炎・ネフローゼ症候群、 遺伝性腎疾患)	臨床講堂1	総論 II 10B34、総論 VI7A12、 総論 VI7D1467、総論 VII 1A126、総論 VII 1B1、総論 VII 1D17、総論 VII 1E246、総論 VII 1G167、総論 VII 6A34、総論 IX 1A4、総論 IX2F67、総論 IX 5A1、総論 IX5B12、総論 IX 5D1、各論 VII 1A123、各論 VII 1B12、各論 VII 1C4、各論 VII 1E12、各論 VII 1F12、各論 VII 3A134、各論 VII 3C12、各論 VII 3F1
5	2018/10/12	金	09:00	10:10	多発性囊胞腎病態研究部門	望月 俊雄	血管・尿細管・間質病変(高血 圧、尿細管間質疾患、水電解質・ 酸塩基平衡)	臨床講堂1	医学各論\\234567、医学各論\\281234567、医学各論\\281234567、医学各論\\20123456789\
6	2018/10/12	金	10:25	11:35	血液浄化療法科	土谷 健	腎機能の障害による異常(急性腎 障害、慢性腎不全)	臨床講堂1	総論7A123、各論2B1、各論 3A1234、各論3B、各論3C12、 各論D1

口	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/10/15	月	09:00	11:35	内科学(第四)	新田 孝作	領域8 試験(試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域9]

科目責任者: 櫻井 裕之 (形成外科学)

## (講義)

_	(叶秋)								
旦	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義內容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/10/16	火	09:00	10:10	耳鼻咽喉科学	野中 学	耳鼻咽喉科学概論 I	臨床講堂1	必修7A8、必修7C67、必修12C⑩⑪、 医学総論Ⅲ2G12、医学総論Ⅲ2H12、 医学総論Ⅲ8C⑬、医学総論Ⅳ8B2、医 学総論Ⅶ16、医学総論Ⅵ3G12345、医 学総論Ⅶ1234579、医学各論Ⅲ 7A123456、医学各論Ⅲ7B1、医学各論Ⅲ7C123456、医学各論Ⅲ8B123、医学各論Ⅲ8C15、医学各論Ⅲ8C15、医学各論Ⅲ
2	2018/10/16	火	10:25	11:35	耳鼻咽喉科学	山村 幸江	耳鼻咽喉科学概説 II	臨床講堂1	必修7C8、必修12C⑫⑬、医学総論VI 3H1234、医学総論VI4A1234、医学各 論Ⅲ9A1-7、医学各論Ⅲ9B1-7、医学 各論Ⅲ11D5、医学各論XI1B2、医学総 論Ⅶ7B3、医学各論Ⅲ10 A1-7、医学 各論Ⅲ10C357⑩、医学各論X12D9、医 学各論Ⅲ1E23、医学各論Ⅲ1B1
3	2018/10/16	火	12:30	13:40	八千代医療センター 形成外科	竹内 正樹	皮膚損傷の診断と病変	臨床講堂1	必須13C2、必須14C4、医学総論 V3A123、医学総論V3B1278、医学総論 IX10D1、医学各論Ⅲ11D235
4	2018/10/16	火	13:55	15:05	形成外科学	櫻井 裕之	熱傷	臨床講堂1	必修11C17、医学総論V3B4、医学総論W11B16、医学各論Ⅲ11A1、医学総論IX10F12345、医学各論Ⅷ5G4
5	2018/10/18	木	09:00	10:10	眼科学	飯田 知弘	眼科学概論Ⅱ	臨床講堂1	必修12C89、医学総論Ⅲ2F12456、医学総論VI3B134、医学総論VI3C2789、医学総論VI3D56、医学総論3E12、医学総論Ⅷ3B345⑫、医学総論Ⅷ3C2349⑪⑫、医学各論Ⅲ5A12、医学各論ⅢD3、医学各論Ⅲ6C1~⑩、医学各論Ⅲ6E12
6	2018/10/18	木	10:25	11:35	眼科学	高村 悦子	眼科学概論 I	臨床講堂1	必修7C12345、必修8E2、必修 9K12345、必修12C67、医学総論Ⅲ 2F123、医学総論Ⅵ3B1456、医学総論Ⅵ3C1-7⑩、医学総論3D1-4、医学総論№13E1、医学総論Ⅲ3E2689⑪、医学各論Ⅲ4B1~3、医学各論Ⅲ5C35689⑩⑪、医学各論Ⅲ5C35689⑩⑪、医学各論Ⅲ5C12、医学各論Ⅲ6A1-5、医学各論Ⅺ1B12、医学各論Ⅺ2D2

_	(H. 4404)							
E	1 試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/10/22	月	09:00	11:35	形成外科学	櫻井 裕之	領域 9 試験(試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域10]

科目責任者: 小川 正樹 (産婦人科学)

# (講義)

回	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/10/23	火	09:00	10:10	東医療センター 産婦人科	高木 耕一郎	妊娠診断から正常分娩・産褥	臨床講堂1	医学総論IV1A①②③、B ①、C①、D①、医学総論 IV2A①、B①-④、医学総 論IV3A、医学総論VIIA ①、B①、C①
2	2018/10/23	火	10:25	11:35	産婦人科学	中林 章	内分泌検査から生殖医療	臨床講堂1	医学総論WII2F①、医学総論WII6K⑥、医学各論WII8A ①②、医学各論WII8D①- ④、医学各論WII8E①② ③、
3	2018/10/24	水	09:00	10.10	八千代医療センター 母体胎児科・婦人科	三谷 穣	異常妊娠から異常分娩	臨床講堂1	医学総論VI7H①-④、医 学総論VII5A①、医学総論 VIII5A①②、Fi①、G①
4	2018/10/24	水	10:25	11:35	産婦人科学	秋澤 叔香	婦人科悪性腫瘍の診断・治療	臨床講堂1	医学各論VIITB③、C④
5	2018/10/25	木	09:00	10:10	東医療センター 産婦人科	橋本 和法	女性医学の進歩と発展	臨床講堂1	医学各論VIII8A①、B①② ③D、医学各論VIII9A
6	2018/10/25	木	10:25	11:35	産婦人科学	熊切順	婦人科良性疾患の診断・治療	臨床講堂1	医学総論VI7G④、医学各論VII7E①②

E	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/10/29	月	09:00	11:35	産婦人科学	小川 正樹	領域10 試験(試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域11]

# 科目責任者:永田 智(小児科学)

# (講義)

П	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/10/30	火	09:00	10:10	東医療センター 小児科	杉原 茂孝	成長と内分泌疾患	臨床講堂1	必修5C②、必修5D①-③、必修7J①②、必修7L①②、必修9N④、必修12J①②、医学総論12B③、医学総論1I10B③④、医学総論1I19A①②、医学総論1V5A①-③、医学総論1V6A①-⑤、医学総論V10A、医学総論V110B①、医学総論V110E、医学総論V110B②、医学総論V110E、医学総論V112F①②、医学经論V112F①②、医学各論I4C②、医学各論I4C②、医学各論X1A①②、医学各論X1A①②、医学各論X1A①②、医学各論X1A①②、医学各論X1A①②、医学各論X10A①-④、必修5C②
2	2018/10/30	火	10:25	11:35	小児科学	永田 智	栄養の基礎と臨床	臨床講堂1	必修13A①、必修15C⑥、必修17B②、必修17C①、医学総論II9A②、医学総論II9A⑤、医学総論IV1E、医学総論IV6C①-⑦、医学総論V8B①②③、医学総論V19J②、医学総論V110A、医学総論IX1A,B,C、医学各論X9A、医学各論X9E②③、必修13A①
3	2018/10/31	水	09:00	10:10	小児外科	世川修	小児外科疾患I	臨床講堂1	医学各論VI12A①、医学各論VI12B①-③、 医学各論VI12C①-④⑥⑦、医学各論VI12D ①、医学各論VI5D①、医学各論VI12A①
4	2018/10/31	水	10:25	11:35	小児外科	世川修	小児外科疾患II	臨床講堂1	医学各論VI12E③、医学各論VI12F①、医学各論VI12G①-⑧、医学各論VI7A①②、 医学各論V4B②、医学各論VI12E③
5	2018/11/01	木	10:25	11:35	小児科学	鶴田 敏久	小児の血液・腫瘍	臨床講堂1	必修7F①-③、必修9G①、必修12G①-④、 医学総論III6A①-⑨、医学総論VI6C②③ ⑧⑨⑪⑫、医学総論III6AB②D①②、医学 総論VIII6A②④⑤、医学各論VIIIB①②、 医学各論VIIIA①C①-③D①-④、医学各論 VI12E③、医学各論VI12C①、医学各論 VI13ABC④E①F①G、医学各論VI14A①、医 学各論VII5A①-④、医学各論X4B②、必 修7F①-③
6	2018/11/02	金	10:25	11:35	母子総合医療センター	戸津 五月	新生児医療の特徴と予防接種	臨床講堂1	必修5A①、必修5B①②、必修7K④、必修7L②③④、必修9J②、必修12E②、総論Ⅱ 4A①④⑤、総論Ⅱ 4C⑤、総論Ⅱ 4C⑤、総論Ⅱ 8C②③、Ⅲ3C④、Ⅳ1C①、Ⅳ5A①-⑤、Ⅳ5B①-⑦、Ⅳ6C①②③、V2A④、V2C③、Ⅵ4K⑥、Ⅷ4C①-④、Ⅷ1A⑦、Ⅷ12③、Ⅷ5H①②、Ⅸ10J①②、IX12B④、IX12E①、各論Ⅰ 3A④⑥⑧、各論Ⅰ 3B①、各論Ⅰ 3B①、各論Ⅰ 3B①、各論Ⅰ 3B①、各論Ⅰ 3H①。各論Ⅰ 3H①。

旦	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属 担当教員氏名		試験内容	試験会場
1	2018/11/05	月	09:00	11:35	小児科学	→K HI 227	領域 1 1 試験(試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [領域12]

# 科目責任者:

# (衛生学公衆衛生学(二))

## (講義)

E	] 開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	医師国家試験出題基準
1	2018/11/06	火	09:00	10:10	衛生学公衆衛生学(二)	小島原 典子	予防医学、疫学	臨床講堂1	医学総論1A①②、医学総論1B①②、医学総論3A①-⑤、 医学総論3B①②③
2	2018/11/06	火	10:25	11:35	国際環境・熱帯医学	杉下 智彦	感染症対策・国際保健	臨床講堂1	
3	2018/11/07	水	09:00	10:10	法医学		患者の人権、医の倫理、診断書 類、医事、死と剖検	臨床講堂1	
4	2018/11/07	水	10:25	11:35	衛生学公衆衛生学 (一)	松岡 雅人	産業保健、環境保健、食品保健	臨床講堂1	医学総論I5K①-④、医学総論I5k①-⑥、医学総論II11A①②③、医学総論II11C①-②、医学総論II12C①-⑤、医学各論XIII1A①②③、医学各論XIII4A①-⑤、医学各論XIII4F①②③
5	2018/11/08	木	09:00	10:10	医療・病院管理学		社会保障制度と医療経済・高齢者 保健、医療安全	臨床講堂1	
6	2018/11/08	木	10:25	11:35	衛生学公衆衛生学(二)		保健統計、母子保健、学校保健、 精神保健	臨床講堂1	医学総論2A①②③、医学総 論4A①-⑥、医学総論7A①- ④、医学総論10A①②

_	H 1.47							
口	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	試験内容	試験会場
1	2018/11/12	月	09:00	11:35	衛生学公衆衛生学 (二)	小島原 典子	領域 1 2 試験 (試験方法: MCQ)	臨床講堂1

# [補講]

# (講義)

回	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	講義内容	講義室
1	2018/11/26	月	09:00	10:10	補講1	臨床講堂2
2	2018/11/26	月	10:25	11:35	補講2	臨床講堂2
3	2018/11/27	火	09:00	10:10	補講3	臨床講堂1
4	2018/11/27	火	10:25	11:35	補講4	臨床講堂1
5	2018/11/28	水	09:00	10:10	補講5	臨床講堂1
6	2018/11/28	水	10:25	11:35	補講6	臨床講堂1
7	2018/11/29	木	09:00	10:10	補講7	臨床講堂1
8	2018/11/29	木	10:25	11:35	補講8	臨床講堂1
9	2018/11/30	金	09:00	10:10	補講9	臨床講堂1
10	2018/11/30	金	10:25	11:35	補講10	臨床講堂1
11	2018/12/3	月	09:00	10:10	補講11	臨床講堂1
12	2018/12/3	月	10:25	11:35	補講12	臨床講堂1
13	2018/12/4	火	09:00	10:10	補講13	臨床講堂1
14	2018/12/4	火	10:25	11:35	補講14	臨床講堂1
15	2018/12/6	木	09:00	10:10	補講15	臨床講堂1
16	2018/12/6	木	10:25	11:35	補講16	臨床講堂1

# [ オリエンテーション、健康管理 ]

# (講義)

□	年月日	曜日	開始 時刻	終了 時刻	担当教員所属	担当教員氏名	講義内容	講義室	コア・カリ対象項目
1	2018/07/23	月	09:00		循環器內科学 臨床検査科		オリエンテーション 学生生活の支援について	臨床講堂1	
2	2018/07/23	月	10:25	11:35	学生健康管理室	内田 啓子	健康管理	臨床講堂1	A-6-3) ① A-9-1)

# 講義スケジュール (補講)

12月以降卒業までの期間に、すでに終了した領域以外の問題のうち診断書、処方の仕方など、医師として最低限必要不可欠の知識についての講義にあてる。これらは総括評価には含まれない。原則として月、火、水、木、金曜日の午前中の時間をあて、内容は表 1 (16 頁) に記載されているような項目を含む予定である。

学生から内容に関して要望があれば、セグメント 10 教育委員長に 8 月 31日(金)までに申し出ることができる。その上で内容を検討、調整し、講義スケジュールを提示する。

# Ⅲ 試験科目・試験スケジュール

回	試験日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	試験内容	担当教員氏名	方法	試験会場
1	2018/09/03	月	09:30	11:15	画像診断学・核医学	坂井 修二	MCQ	臨床講堂1
2	2018/09/04	火	09:00	11:35	循環器内科学	萩原 誠久	MCQ	臨床講堂1
3	2018/09/10	月	09:00	11:35	皮膚科学	石黒 直子	MCQ	臨床講堂1
4	2018/09/18	火	09:00	11:35	消化器内科学	徳重 克年	MCQ	臨床講堂1
5	2018/09/25	火	09:00	11:35	内科学 (第三)	馬場園 哲也	MCQ	臨床講堂1
6	2018/10/01	月	09:00	11:35	神経内科学	北川 一夫	MCQ	臨床講堂1
7	2018/10/09	火	09:00	11:35	整形外科学	岡崎 賢	MCQ	臨床講堂1
8	2018/10/15	月	09:00	11:35	内科学 (第四)	新田 孝作	MCQ	臨床講堂1
9	2018/10/22	月	09:00	11:35	形成外科学	櫻井 裕之	MCQ	臨床講堂1
10	2018/10/29	月	09:00	11:35	産婦人科学	小川 正樹	MCQ	臨床講堂1
11	2018/11/05	月	09:00	11:35	小児科学	永田 智	MCQ	臨床講堂1
12	2018/11/12	月	09:00	11:35	衛生学公衆衛生学(二)	小島原 典子	MCQ	臨床講堂1

## (追・再試験)

回	開講日付	曜日	開始 時刻	終了 時刻	試験内容	担当教員氏名	方法	試験会場
1	2018/11/15	木	09:30	11:15	画像診断学・核医学	坂井 修二		臨床講堂1
2	2018/11/15	卡	12:30	15:05	循環器内科学	萩原 誠久	MCQ	臨床講堂1
3	2018/11/16	金	09:00	11:35	皮膚科学	石黒 直子	MCQ	臨床講堂1
4	2018/11/16	金	12:30	15:05	消化器内科学	徳重 克年		臨床講堂1
5	2018/11/19	月	09:00	11:35	内科学 (第三)	馬場園 哲也	MCQ	524
6	2018/11/19	月	12:30	15:05	神経内科学	北川 一夫	MCQ	524
7	2018/11/20	火	09:00	11:35	整形外科学	岡崎 賢		524
8	2018/11/20	火	12:30	15:05	内科学 (第四)	新田 孝作	MCQ	524
9	2018/11/21	水	09:00	11:35	形成外科学	櫻井 裕之	MCQ	524
10	2018/11/21	水	12:30	15:05	産婦人科学	小川 正樹		524
11	2018/11/22	木	09:00	11:35	小児科学	永田 智	MCQ	524
12	2018/11/22	木	12:30	15:05	衛生学公衆衛生学(二)	小島原 典子	MCQ・面接	524

# IV 教育委員会·学生委員

#### 教育委員会

```
委員長 萩 原 誠 久 教授(循環器内科学)
               智
 副委員長
       永
          田
                  教授 (小児科学:領域11)
          井
 委
       坂
            修
                  教授(画像診断・核医学科:領域1)
       萩
          原
               久
                  教授(循環器内科学:領域2)
  IJ
            誠
          黒
               子
                  教授 (皮膚科学:領域3)
  IJ
       石
            直
       徳
          重
                  教授 (消化器内科学:領域4)
  IJ
            克
               年
  IJ
       馬場園
            哲
               也
                  教授 (内科学 (第三):領域 5)
  IJ
       北
          Ш
               夫
                  教授 (神経内科学:領域6)
       出
               賢
                  教授 (整形外科学:領域7)
         崎
  IJ
       新田
            孝
              作
                  教授 (内科学 (第四):領域 8)
  IJ
  IJ
       櫻
         井
            裕
               之
                  教授 (形成外科学:領域9)
         Ш
               樹
                  教授 (産婦人科学:領域10)
       小
            正
  IJ
                  教授(:領域 12)
                  教授 (血液内科学)
  IJ
       田
          中
            淳
               司
       小
               明
                  教授 (病理学(第二))
          田
            秀
  IJ
       丸
             義
              朗
                  教授 (薬理学)
  IJ
  IJ
                  教授 (耳鼻咽喉科学)
         崹
               眞
                  教授 (麻酔科学)
  IJ
       尾
       岡本
            高 宏
                  教授 (外科学 (第二))
  IJ
            勝治
                  教授 (精神医学)
  IJ
       西
         村
オブザーバー
       村 崎
             かがり
                  准教授 (予防医学科)
```

#### 学生委員

学年担当 佐藤麻子 教授 (臨床検査科) 健康関係 西村 勝治 教授 (精神医学) 勉学関係 大久保 由美子 教授 (医学教育学)

V 講義·実習時間割表

				<b>T</b> A		Segmentio		実習時間割表				
		I	П		Ш		IV		v		VI	
		09:00 10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
		(講義)	(講義)									
	7	オリエンテーション	健康管理学									
	/											
	23	1,11	hate with higher willi									
		オリエンテーション	健康管理									
	月											
		(05-mm = 1 -51 )										
		(循環器内科学 萩原) (学年担当学生委員		а <del>ф</del> н								
		臨床検査科 佐藤)	(学生健康管理 田)	E 主 Pi								
		(試験)	Щ)									
		(P-Cig)C)										
	7	00-20 - 10-00										
	/	09:30~12:00										
	24											
		実力試験										
	火											
	7											
	/											
	25											
第												
罗												
1	水											
週												
_												
	_											
	7											
	/											
	26											
	木											
	1											
				· <u> </u>		_				_		
	7											
	/											
	<sup>2</sup> 7											
	ا ك											
	金											
	工											

	T		III	0 講義・実習時間割割  ──────────────────────────────────	v	VI		
	I	П			·			
	09:00 10:10	l l	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:4		
	(講義)	(講義)	(講義)	(講義)	(講義)			
8	領域1	領域1	領域1	領域1	領域2			
/								
27								
	病理組織診断(細胞語	沙 内視鏡による診断	全身症候	臨床診断の基本	呼吸機能			
	含む)			(EBM、効果判定基準等)				
				寺)				
月								
		(八千代医療センター		(乳腺・内分泌外科 岡	1			
	(病理診断科 長嶋		(総合診療科 川名)	本)	(内科学(第一)桑平)	)		
	(講義)	(講義)	(講義)	(講義)	(自己学修)			
8	領域1	領域1	領域1	領域1	自己学修			
0/	12/3/2	12. 24.2	100.00.2	12/3/1	1 2 1 1			
28								
	救急患者の初期対応	一般検査	臨床神経生理学的検	内視鏡による診断				
	000000 E 00000000000000000000000000000	AXIXE	查	1 100001-01000				
火								
	(粉色医学 左口)	(医比松木科 / 花林)	(大中文) 中文( ) AC lié (	(中和学(数 ) 中山)	<b>\</b>			
	(救急医学 矢口)	(臨床検査科 佐藤)	(神経内科学 飯嶋)	(内科学(第一) 武山 (講義)	) (自己学修)			
8	領域1	領域1	領域1	領域1	自己学修			
29	F	# ### ### ### ### ####################		1. 大流水中の大流体/周				
	臨床画像の成立ちと   影の基本	読 超音波検査による診断	一心電図、心音図等の見	<ul><li>□ 血液疾患の皿液像(常 前 髄及び末梢血塗抹標</li></ul>				
	かり 本本		見の理解	本)				
١.,			プロック王/計	777				
水								
	(画像診断学・核医学	ゼ (八千代医療センター						
	坂井)	消化器外科 片桐)	(総合診療科 島本)	(血液内科学 萩原)				
	(自己学修)	(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)			
8	自己学修	領域2	領域2	自己学修	自己学修			
/								
30								
		アレルギー性肺疾患	呼吸器疾患の外科治					
			療					
木								
		(内科学(第一) 多賀						
		谷)	(外科学(第一) 神崎	)				
	(講義)	(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)			
Q	領域2	領域2	領域2	自己学修	自己学修			
/								
31								
	先天性心疾患の診断	と心血管疾患の外科治	虚血性心疾患•心不					
	治療	療	全·不整脈					
金								
314								
		/ > #11. + #4						
	  (循環器小児科 杉山	(心臟血管外科学 新						
	다 교육 바로 그는 게 되면 뭐니 저는 [1	」) 浪)	(循環器内科学 萩原	<i>)</i>	I			

				成30年度 Segment10			
		I	П	Ш	IV	v	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
		(試験)					
	9						
	/	09:30~11:15					
	3	A-15					
		領域1 試験(試験方法	:MCQ)				
	月						
	力						
F		(試験)					
	9						
	4						
		領域2 試験(試験方法	:MCQ)				
	火						
		/=#	/=# 光/	/=# - ** \	/=# - ** \	(古司兴禄)	
		(講義)	(講義)	(講義)	(講義)	(自己学修)	
	9	領域3	領域3	領域3	領域3	自己学修	
	_						
	5	感染系(感染症の診	感染系(臓器別感染	血液系(白血病)	血液系(貧血)		
第		断・治療の原則)	症、起因微生物別感染	皿似尔(口皿/内)	皿似示(頁皿)		
710		H 10/00000000000000000000000000000000000	症の実例とその病態)				
3	水						
١٠١	/1,						
週							
<u> </u>							
		(感染症科 菊池)	(感染症科 菊池)	(血液内科学 吉永)	(血液内科学 志関)		
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
	9	領域3	領域3	自己学修	自己学修	自己学修	
	/						
	6						
		皮膚系(重要疾患のま とめ)	皮膚系(臨床像から考 える診断と治療法)				
		∠ <i>«</i> ))	える砂肉と信集伝)				
	木						
	//						
		(皮膚科学 常深)	(皮膚科学 石黒)				
		(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		自己学修	自己学修	自己学修	自己学修	自己学修	
	1		. = ,	. =	. =	. = ,	
	7						
	•						
	金						

					) 講義・実習時間割表		
		I	П	Ш	IV	v	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
		(試験)					
	9						
	10						
	10	領域3 試験(試験方法	·MCO)				
		19.90 11.00 (11.00) 12					
	月						
ŀ		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		領域4	領域4	自己学修	自己学修	自己学修	
	9		12.24.2	1 2 7 12	1 1 , 10	1 3 7 12	
	11						
		消化器疾患の外科治療(各性腹点なるない)	消化器疾患診察ポイン				
		療(急性腹症を含む)	F				
	火						
		(消化器外科学 山本)	(消化器内科学 徳重)				
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
	9	領域4	領域4	自己学修	自己学修	自己学修	
	12						
		肝炎から肝硬変へ	下部消化管疾患				
第		21/200	T PRIITING BOOK				
4	水						
週							
		(消化器内科学 徳重)	(消化器外科学 板橋)				
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
	9	領域4	領域4	自己学修	自己学修	自己学修	
	/						
	13	田 歴史中の教経し公	1.如冰小茶床中 中				
		胆・膵疾患の診断と治 療	上部消化管疾患-内視鏡診断と治療				
	木						
		(消化器内科学 清水)	(消化器内視鏡科 岸				
ŀ		(用化器内科字 ) (自己学修)	野) (自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		自己学修	自己学修	自己学修	自己学修	自己学修	
	9						
	14						
	金						
	亚.						

				灭30年度 Segment10			
		I	П	Ш	IV	V	VI
-		09:0010:10敬老の日	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
		収名の日					
	9						
	17						
	月						
		(試験)					
	9						
	10						
	18	領域4 試験(試験方法	:MCQ)				
			•				
	.1,						
	火						
-		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		領域5	領域5	自己学修	自己学修	自己学修	
	9	[英·线·0	194750	日七子修	日七子彦	日七子修	
	19						
第		視床下部·下垂体·副 腎疾患	その他の内分泌疾患 (性腺・MEN・ホルモン				
NJ		月次心	受容体異常症など)				
5	水						
週							
		(内科学(第二) 市原)	(内科学(第二) 市原)				
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
	9	領域5	領域5	自己学修	自己学修	自己学修	
	20						
		糖尿病の病態・診断・	甲状腺•副甲状腺疾患				
		治療·急性合併症					
	<del></del>						
	木						
		(内科学(第三) 馬場	(内科学(第二) 谷田				
}		(講義)	部) (講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		領域5	領域5	自己学修	自己学修	自己学修	
	/			_ , _	,	_ , _	
	21		高脂血症•痛風•高尿				
		糖尿病慢性合併症(腎•神経•網膜)	酸血症				
		11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
	金						
			(膠原病リウマチ痛風セ				
			ンター 谷口) (八千				
		(内科学(第三) 馬場	代医療センター糖尿病・内分泌代謝内科				
		(P1科子(第二) 网络 園)	橋本)				

		I	П	III	Ⅳ 佛教 天日时间引	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40			16:35 17:45
		秋分の日(振替)	10.23	12.30	10.00	10.10	10.55
		V (34 E)					
	9						
	24						
	月						
	Л						
		/AL#A\		1			
		(試験)					
	9						
	/ 25						
	20	領域5 試験(試験方法	:MCQ)				
	,						
	火						
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
	9	領域6	領域6	自己学修	自己学修	自己学修	
	/						
	26	神経放射線診断学	全身麻酔と意識と痛み				
第		11年/1年/1人列 /	主分が肝と思戦と浦か				
6	水						
週							
		(-11) = 1 (1-1)					
		(画像診断学·核医学 阿部)	(麻酔科学 尾崎)				
		(講義)	(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	
	9	領域6	領域6	領域6	自己学修	自己学修	
	/						
	27		TIME A APPLE TO THE APPLE OF TH	11.07 d 20 d d			
		精神疾患	脳血管障害	神経内科疾患			
	木						
		(生地医学 玉井)	(神経内科学 北川)	(神奴中却) 45111			
		(精神医学 西村) (講義)	(伸経内科学 北川) (自己学修)	(神経内科学 北川) (自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		領域6	自己学修	自己学修	自己学修	自己学修	
	9						
	28						
		意識障害と脳死判定					
	金						
	-4/-						
		(m) I I dee to set the course					
$\Box$		(脳神経外科学 川俣)					

	,			成30年度 S	egmentiu		时间刮衣			T	
	I 09:0	0 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
1( // 1	(試懸 ) (領域										
10 // 2	整形総論。	7 外科診断、治療の 、基礎科学、腫	(講義) 領域7 ) 脊椎の外傷、炎症、変性、スポーツ、リハビリ	(自己学修) 自己学修		(自己学修) 自己学修		(自己学修)自己学修			
10/ 3 第 7 水	(講家) 四論損	7 :関節の外傷(総 骨折、脱臼、靱帯	(整形外科学 和田) (講義) 領域7 非外傷性関節疾患	(自己学修) 自己学修		(自己学修) 自己学修		(自己学修) 自己学修			
10/4	(講 <sup>3</sup> 領域 リウ <sup>5</sup>	妄)	(整形外科学 岡崎) (講義) 領域7 膠原病・アレルギー	(自己学修) 自己学修		(自己学修) 自己学修		(自己学修) 自己学修			
10//5	(廖原 (自己 )	京病リウマチ痛風セ ンター 山中) 己学修) 学修	? (膠原病リウマチ痛風t ンター 山中) (自己学修) 自己学修	(自己学修)自己学修		(自己学修) 自己学修		(自己学修) 自己学修			
<b>\$</b>	).										

-		_			0 講義·美省時間割		1
		I 00:00 10:10	II 10:25 11:25	12:20 12:40	IV 12:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:25 17:45
}		09:0010:10体育の日	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
	10	11 12 - 11					
	/						
	8						
	月						
	H						
		(試験)					
	10						
	9						
		領域7 試験(試験方法	:MCQ)				
	火						
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
		領域8	領域8	自己学修	自己学修	自己学修	
	/						
	10	性分化の異常、腎・尿	腎・尿路結石と尿路閉				
第		性分化の異常、腎・尿 路・男性生殖器の腫 瘍、尿路・生殖器異常	塞性疾患、腎・尿路・生 殖器の炎症				
8	水	%、水路*土炮船共吊	7世命 グラス 江上				
	/11						
週							
		(泌尿器科学 田邉)	(移植管理科 石田)				
		(講義)	(講義) 領域8	(自己学修) 自己学修	(自己学修) 自己学修	(自己学修) 自己学修	
	10	領域8	<b>興Ψδ</b>	日口子修	日口子修	日口子修	
ľ	11	to all the shades (minutes)	小児腎疾患(学校検				
		糸球体病変(腎炎・ネ フローゼ症候群、全身	尿、蛋白尿・血尿、腎 炎・ネフローゼ症候群、				
		性疾患と腎障害)	遺伝性腎疾患)				
	木						
		(学生健康管理室 内 田)	(腎臟小児科 服部)				
F		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	
	10	領域8	領域8	自己学修	自己学修	自己学修	
	/ 12						
		血管•尿細管•間質病	腎機能の障害による異				
		質疾患、水電解質・酸	常(急性腎障害、慢性 腎不全)				
	金	塩基平衡)					
		(多発性嚢胞腎病態研	(血液浄化療法科 土				
		究部門 望月)	谷)				

09:00 10:10   10:25 11:35   12:30 13:40   13:55 15:05   15:15 16:25   16:35 17:4					或30年度 Segment10		V VI		
(講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (調義) (調義) (調義) (調義) (調義) (国己学修) (国己学修) (国立学修) (国立							-		
10				10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45	
15			(武)						
対域を	1	0							
対域を	/	۲							
日	1	. Б	領域8 試驗(試驗方法	·MCO)					
(講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (自己学修) (自己			190.300 E VID. (E VID.().7 12						
(講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (講義) (自己学修) (自己									
10   (銀東9   銀東9   銀東9   銀東9   日己学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学学   日子学学   日子学学学   日子学学学学学学学学学学学学学	F	1							
10   (銀東9   銀東9   銀東9   銀東9   日己学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学学   日子学学   日子学学学   日子学学学学学学学学学学学学学									
10   (銀東9   銀東9   銀東9   銀東9   日己学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学学   日子学学   日子学学学   日子学学学学学学学学学学学学学									
10   (銀東9   銀東9   銀東9   銀東9   日己学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学学   日子学学   日子学学学   日子学学学学学学学学学学学学学									
10   (銀東9   銀東9   銀東9   銀東9   日己学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学学   日子学学   日子学学学   日子学学学学学学学学学学学学学									
10   (銀東9   銀東9   銀東9   銀東9   日己学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学修   日子学学   日子学学   日子学学学   日子学学学学学学学学学学学学学		-	(議義)	(業業)	(議業)	(議業)	(白己学修)		
16									
丁鼻咽喉科学 駅中	1	0	<b>映</b>	與與9	限项9	限项9	日口子修		
丁鼻咽喉科学 駅中	1	6							
(五鼻咽喉科学 野中)     (五鼻咽喉科学 野中)     (五鼻咽喉科学 野中)     (五字修)     (自己学修)     自己学修)     自己学修)<	1		耳鼻咽喉科学概論 I	耳鼻咽喉科学概説 II	皮膚損傷の診断と病変	熱傷			
(耳鼻咽喉科学 野中) (耳鼻咽喉科学 山村)     (八千代医療センター 形成外科学 櫻井)     (10 日之学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     自己学修     自己学修<									
(耳鼻咽喉科学 野中) (耳鼻咽喉科学 山村)     (八千代医療センター 形成外科学 櫻井)     (10 日之学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     自己学修     自己学修<									
(日泉明峡科学 野中) (日息明峰科学 山村)   形成外科 竹内) (形成外科学 櫻井) (自己学修) (由己学修) (由己学修) (由己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修	1	と							
(日泉明峡科学 野中) (日息明峰科学 山村)   形成外科 竹内) (形成外科学 櫻井) (自己学修) (由己学修) (由己学修) (由己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修									
(日泉明峡科学 野中) (日息明峰科学 山村)   形成外科 竹内) (形成外科学 櫻井) (自己学修) (由己学修) (由己学修) (由己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修									
(日泉明峡科学 野中) (日息明峰科学 山村)   形成外科 竹内) (形成外科学 櫻井) (自己学修) (由己学修) (由己学修) (由己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修					(1) = 11				
(自己学修) (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修			(耳阜咽喉科学 野山)	(耳阜咽喉乳炎 山灶)	(八千代医療センター	(取出外到学 調井)			
10	-		(4)昇咽喉科子 野中 <u>/</u> (自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(自己学修)		
(講義)	1								
(講義)		0		日七子珍	日七子珍	日七子珍			
(講義)	1	7							
(講義) (講義) (講義) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修									
(講義) (講義) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修	育								
(講義) (講義) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 (自己学修) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修	ا ۵	مد							
(講義) (講義) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修	<b>9</b> 7	K							
(講義) (講義) (自己学修) (自己学修) (自己学修) 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修 自己学修									
10 領域9     領域9     自己学修       18 服科学概論II     眼科学概論I       木     (眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       10 自己学修     自己学修     自己学修       10 自己学修     自己学修     自己学修       19     自己学修     自己学修									
10 領域9     領域9     自己学修       18 服科学概論II     眼科学概論I       木     (眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       10 自己学修     自己学修     自己学修       10 自己学修     自己学修     自己学修       19     自己学修     自己学修									
10 領域9     領域9     自己学修       18 服科学概論II     眼科学概論I       木     (眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       10 自己学修     自己学修     自己学修       10 自己学修     自己学修     自己学修       19     自己学修     自己学修									
R				(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)		
R	1	0	領域9	領域9	自己学修	自己学修	自己学修		
限科学概論 I	/	/							
(眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       自己学修     自己学修     自己学修       自己学修     自己学修     自己学修	1	.8							
(眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       10     自己学修     自己学修     自己学修       19     自己学修     自己学修			眼科学概論Ⅱ	眼科学概論 I					
(眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       10     自己学修     自己学修     自己学修       19     自己学修     自己学修									
(眼科学 飯田)     (眼科学 高村)       (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)     (自己学修)       10     自己学修     自己学修     自己学修       19     自己学修     自己学修	1	七							
(自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       自己学修         10       自己学修       自己学修       自己学修         19       自己学修       自己学修		1							
(自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       自己学修         10       自己学修       自己学修       自己学修         19       自己学修       自己学修									
(自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       自己学修         10       自己学修       自己学修       自己学修         19       自己学修       自己学修									
(自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       (自己学修)       自己学修         10       自己学修       自己学修       自己学修         19       自己学修       自己学修									
10 自己学修     自己学修       19 目 2 学修     自己学修			(眼科学 飯田)	(眼科学 高村)					
	1	0	自己学修	自己学修	自己学修	自己学修	自己学修		
	/	/							
金	1	9							
金									
	4	全							
		_							
	$\perp$								

	T =			以30年度 Se	egillericio		아데비하	v vi			
	I		П	Ш		IV					
	09:00	10:10	10:25 11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
	(試験)										
10	<b>\</b>										
10											
22	,										
44	領域9 試験(記	试驗方法	·MCO)								
	1997-900 11-1000 (1	P (IDC) IA	.WC Q/								
月											
万											
	(講義)		(講義)	(自己学修)		(自己学修)		(自己学修)			
1.0	領域10		領域10	自己学修		自己学修		自己学修			
10	1 199-5010		19475410	D C 7 7 18		口口子吗		口口于16			
25											
23	妊娠診断から	T常八	内分泌検査から生殖医								
	焼・産褥	上市刀	療	•							
			/JK								
火	-										
	(古匠座 ** * * * *	<i>₩1</i> =									
	(東医療センタ	一 産婦									
-	人科 高 (講義)	<b>/\</b> /	(産婦人科学 中林) (講義)	(自己学修)		(自己学修)		(自己学修)			
10	領域10		領域10	自己学修		自己学修		自己学修			
/	•										
24	ŧ.										
	異常妊娠から	異常分娩	婦人科悪性腫瘍の診								
			断·治療								
水											
育	(八千代医療-	センター									
0	母体胎児科•	婦人科									
	三谷)		(産婦人科学 秋澤)								
퓝	(講義)		(講義)	(自己学修)		(自己学修)		(自己学修)			
10	領域10		領域10	自己学修		自己学修		自己学修			
/											
25	;										
	女性医学の進	歩と発展	婦人科良性疾患の診								
			断·治療								
木	:										
	(東医療センタ	一 産婦									
	人科 橋		(産婦人科学 熊切)								
	女子医大祭				-		-		-		
10											
17											
26	<u>,                                    </u>										
仝											
金											
金											
金											
金											
金 —	女子医大祭										
	女子医大祭										
金	女子医大祭										
10	女子医大祭										
	女子医大祭										
10	女子医大祭										
10	女子医大祭										
10	女子医大祭										
10	女子医大祭										
10 // 27	女子医大祭										
10/27	女子医大祭										

		-		或30年度 Segment10		r τπ			
		I	П	Ш	IV	V	VI		
			10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45		
		(試験)							
	10								
	/								
	29	Λπ (-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	+ 1(20)						
		領域10 試験(試験方法)	去:MCQ)						
	月								
	/ •								
		/-# 3/s)	1/	(4 = )(44)	(4 = )(44)	(4 = )(44)			
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)			
	10	領域11	領域11	自己学修	自己学修	自己学修			
	/								
	30	<b>4</b> 目 1 4 7 2 2 4 4	労美の甘 <i>7</i> 株1.吃亡						
		成長と内分泌疾患	栄養の基礎と臨床						
	火								
		(東医療センター 小児							
		科 杉原)	(小児科学 永田)						
		(講義)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)			
	10	領域11	領域11	自己学修	自己学修	自己学修			
	/								
	31	1.1日从40左中1	1. 旧从到 佐東田						
第		小児外科疾患I	小児外科疾患II						
714									
11	水								
週									
2									
		(小児外科 世川)	(小児外科 世川)	(4 7 % (4)	(4 7 % (4)	(4 7 % (4)			
		(自己学修)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)			
	11	自己学修	領域11	自己学修	自己学修	自己学修			
	/								
	1		小児の血液・腫瘍						
			71・71・711・71111八 川至7/20						
	木								
		(古司兴禄)	(小児科学 鶴田)	(白司兴禄)	(古司路)	(百二兴/4)			
		(自己学修)	(講義)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)			
	11	自己学修	領域11	自己学修	自己学修	自己学修			
	/								
	2		新生児医療の特徴と予						
			防接種						
	金								
			(母子総合医療セン						
			ター 戸津)						

-				成30年度 Segment		间剖态			1	
		I	П	ш	IV		v		VI	
		<b>09:00</b> 10:10 (試験)	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
		(武)								
	11									
	5									
		領域11 試験(試験方法	去:MCQ)							
	月									
	Л									
		(講義)	(講義)	(古司 学版)	(白コ兴松)		(古一学版)			
				(自己学修)	(自己学修)		(自己学修)			
	11	領域12	領域12	自己学修	自己学修		自己学修			
	6									
		予防医学、疫学	感染症対策·国際保健							
	火									
		(衛生学公衆衛生学	(国際環境·熱帯医学							
		(二) 小島原) (講義)	杉下) (講義)	(自己学修)	(自己学修)		(自己学修)			
		領域12	領域12	自己学修	自己学修		自己学修			
	11	與43.12	原城12	日七子修	日七子修		百七子廖			
	7									
第		患者の人権、医の倫	産業保健、環境保健、							
邪		理、診断書類、医事、 死と剖検	食品保健							
12		,								
12	/1/									
週										
			(衛生学公衆衛生学							
		(法医学 木林) (講義)	(一) 松岡) (講義)	(自己学修)	(自己学修)		(自己学修)			
		領域12	領域12	自己学修	自己学修		自己学修			
	/									
	8									
		社会保障制度と医療経 済・高齢者保健、医療	保健統計、母子保健、 学校保健 精神保健							
		安全	1 KAKACA HATTAKAC							
	木									
		(医療·病院管理学 加藤)	(衛生学公衆衛生学 (二) 小島原)							
		(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)	(自己学修)		(自己学修)			
	11	自己学修	自己学修	自己学修	自己学修		自己学修			
	/									
	9									
	金									
			1	1	1		1		1	

	<u> </u>					成30年度 Segment10 講義·実習時間割表							
		I		П		Ш		IV		v		VI	
		09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
		(試験)											
	11												
	/												
	12												
		領域12 試験(試験方法:MCQ)											
	月												
	/ 3												
				1									
	11												
	13												
	13												
	火												
	11												
	/												
	14												
第													
/14													
13	水												
週													
=		(追・再試験)				(追•再討	/ 全国 /						
		(但"拧成妖)				(坦-井區	(in大)						
	11	09:30~11:15											
	15												
		領域1 追·再試	験			領域2 追·再試験(試験方法:MCQ)							
	木												
	/\ <u>\</u>												
		() <del>_</del>				/s# - :- :	, μ•Λ \						
		(追・再試験)				(追•再討	(験)						
	11												
	10												
	16	領域3 追•再試	験(試明	験方法·MCC	))	領域4 音	追•再試験						
		領域3 追·再試験(試験方法:MCQ)			N-20-7	_ 17# 40/							
	金												
												l .	

	平成30年度 Segment10 講義・実習時間割表										
		I II	III IV	V	VI						
		09:00 10:10 10:25 11:35	12:30 13:40 13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45						
				10.10 10:20	17:40						
		(追•再試験)	(追・再試験)								
	11										
	/										
	19										
	13	領域5 追·再試験(試験方法:MCQ)	領域6 追·再試験(試験方法:MCQ)								
		E THANKING A.MOW									
	п										
	月										
		(泊 五針鮫)	(方面)								
		(追•再試験)	(追·再試験)								
	11										
	/										
	20										
		領域7 追•再試験	領域8 追·再試験(試験方法:MCQ)								
	火										
		(追•再試験)	(追・再試験)								
	11										
	/										
	21										
25		領域9 追·再試験(試験方法:MCQ)	領域10 追•再試験								
第											
14	水										
\H											
週											
		(追・再試験)	(追•再試験)								
	11										
	11										
	22										
	44	領域11 追·再試験(試験方法:MCQ)	領域12 再·追試験(試験方法:MCQ·面接)								
		吸吸11 但"拧吶啾(吶啾刀(広:MUQ)									
	_1.										
	木										
		勤労感謝の日		1	1						
	11										
	/										
	23										
	金										
	<u>AT.</u>										
$\overline{}$											

					Ocginentio		美省時間割表			1	
		I	П	Ш		IV		v		VI	
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
		(講義)	(講義)					-			
	11	補講	補講								
	/										
	26										
		補講1	補講2								
	月										
	•										
		(講義)	(講義)								
	11	補講	補講								
	11	1113 1113	1113.613								
	27										
	41	補講3	補講4								
		1 計画 3	作用i再生								
	火										
		(講義)	(= 株 主)								
			(講義)								
	11	補講	補講								
	/										
	28										
		補講5	補講6								
第		111111111111111111111111111111111111111	111111111111111111111111111111111111111								
-											
15	7/2										
19	八										
週											
. —											
		(講義)	(講義)								
	11	補講	補講								
	/					1					
	29					1					
		補講7	補講8			1					
						1					
						1					
	木					1					
						1					
						1					
						1					
						1					
						1					
		(講義)	(講義)		_	1			_		
	11	補講	補講			1					
	11	1100 M14	1114 M14			1					
	20					1					
	30	⊭₩0	⊭#10			1					
		補講9	補講10			1					
						1					
						1					
	金					1					
						1					
						1					
						1					
						1					
igsqcut											

				千月	以30年度	Segmentiu	神教	実習時間割表				
		I	П		Ш		IV		v		VI	
				11.05		10.40	13:55	15.05		10.0E	16:35	17.45
ļ		09:00 10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	10:35	17:45
		(講義)	(講義)									
	10	補講	補講									
	14	1113 1113	1113 113									
	/											
	3											
		補講11	補講12									
	_											
	月											
ļ		(-16. V.)	(att. Vt.)									
		(講義)	(講義)									
		補講	補講									
	12	THI DIT	THI DITY									
	/											
	4											
		補講13	補講14									
			1114 114 2 2									
	火											
ŀ		ALLIS A D										
		創立記念日										
	1.0											
	12 / 5											
	/											
	5											
第												
<b>-10</b>												
16	水											
週												
-		(346 <del>7</del> 47)	/=#+ <del>\</del> \				1					
		(講義)	(講義)									
	1.0	補講	補講									
	12	1111 1111	1111 1117									
	/											
	6											
		補講15	補講16									
			1									
	木											
].											1	
	10											
	12											
	/											
	7											
	•											
	金											
	가스											
			*									

		I II II II IV V						
		09:00 10:10			12:30 13:40	13:55 15:05		VI 16:35 17:45
	12							
	12							
	10							
	п							
	月							
	19							
	12 / 11							
	11							
	火							
	12							
	12 / 12							
第								
17	<b>-</b> I.c							
17	八							
週								
	12							
	12 / 13							
	13							
	木							
	小							
	12							
	12 / 14							
	14							
	金							
	亚							
<u> </u>	Ь—		1		I.	1	l .	

		I	VI			
		09:00 10:1	II 10 10:2		V 15:15 16:25	16:35 17:45
	12					
	12 / 17					
	11					
	月					
	刀					
	12					
	12 / 18					
	18					
	火					
	八					
	12					
	12 / 19					
第						
18	<b>→</b> l∨					
10	八					
週						
	12					
	12 / 20					
	20					
	木					
	/\					
	12					
	12 / 21					
	21					
	<b>^</b>					
	金					
Щ.						